

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	静岡県	「情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう」(浜辺の歌)	【1】(第1学年)「A表現」(1)歌唱及び(共通事項)(1)	知識→筆記テストにおいて、歌詞の内容や曲の構造、拍子や調整など、楽曲の背景や特徴についての設問に解答し、おおむね理解できていると判断し「B」と評価した。 技能→旋律の特徴に合わせた強弱変化をつけて歌うことができている生徒を「A」、おおむね正しい音程、リズムで歌うことができている生徒を「B」と評価した。	ワークシートに、どのように歌いたいかについて自分の思いや意図を、旋律の特徴や歌詞の内容をふまえて記述されていたため、「B」と評価した。	ワークシートには自分の考えだけではなく、仲間の考えも記述されていたり、気づいたことがあれば楽譜に記録したりと、自分の表現に生かそうとする姿が見られた。そのため、前向きに表現活動に参加する姿勢ができていると判断し、「A」と評価した。
2	神奈川県	「曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して歌おう」	【1】(第1学年)「A表現」(1)歌唱及び(共通事項)(1)	知識→様々な音楽記号や用語の整理をしながら学習を進め、楽譜に書き込みながら歌う活動をしているか。  技能→音楽記号や用語の意味を理解し、ふさわしく歌うことができるか。	ワークシートで表現の工夫に関して書き出し、音楽記号や用語にふさわしい表現を記述することができるか、また楽譜上だけでなく自ら考え、想像した表現も入れ込みながら歌唱の活動に取り組むことができるか。	学習カードで毎時間評価。
3	東京都	夏の思い出	【1】(第1学年)「A表現」(1)歌唱及び(共通事項)(1)	知識・技能→「情景を思い浮かべて歌唱する」で、楽曲の成立背景や、歌詞によまれた情景描写についての想像を膨らませ、おおむね妥当に歌唱表現ができている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、音色や音の重なり方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌唱するかについて思いや意図をおおむねもっていることがうかがえる記述があり、またそれが歌唱表現に生かされていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	授業観察の記録では、意欲的に歌詞を表現するための歌い方について考えられていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
4	滋賀県	曲の構成を感じ取って演奏しよう。	【1】(第1学年)「A表現」(1)歌唱及び(共通事項)(1)	知識→「曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する」で、旋律や曲調、リズムの変化などにおおむね気付いていることがうかがえる記述があった。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。 技能→「創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方」で、どのように歌うかについて思いや意図をおおむねもっているとうかがえる記述があり、歌唱活動に生かされていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、旋律や強弱の変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をおおむねもっていることがうかがえる記述があり、歌唱表現に生かされていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	生徒の振り返りシートの記述では、良かった点やできなかった点だけでなく、改善点などが書かれていた。ワークシートでは、自己の意見だけでなく他者の意見も取り入れ、様々な歌唱表現を試行錯誤し、主体的に取り組むことができていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
5	宮城県	思いを込めて合唱しよう	【1】(第1学年)「A表現」(1)歌唱及び(共通事項)(1)	知識→ワークシートに、どのように歌うかについて、自分の思いや意図を記入し、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解していることが書かれていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→歌唱時の観察により、発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、表現をしていることを見取ることができた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	パート練習時の観察やワークシートの記述より、旋律や強弱の働きが生み出す雰囲気を感じながら、その関わりについて考え、どのように歌うかについて、思いや意図を持っていることを見取ることができた。以上のことから「十分に満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	歌唱時の観察やワークシートの振り返り記述より、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組んでいることを見取ることができた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。
6	奈良県	情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。	【1】(第1学年)「A表現」(1)歌唱及び(共通事項)(1)	曲の背景について授業内で得た知識をもとにその内容について概ね理解できていることから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	授業内容で得た知識をもとに、歌唱時の強弱や抑揚の付け方、音楽に対して意図を持って表現しているか等の項目において、「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。	授業時は積極的な姿勢を見せ、ワーク等の記述面では曲から想像されるイメージを文章化することができ、また、授業時の持ち物も忘れることが無かった。以上のことから「十分満足できる」と判断し「A」と評価した。
7	香川県	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを捉えて「夏の思い出」の表現を工夫しよう	【1】(第1学年)「A表現」(1)歌唱及び(共通事項)(1)	知識→「3段目の表現を工夫しよう」のワークシートでは、強弱記号や旋律の順次進行に注目しながら水芭蕉の花が開く様子を想像し、自分なりの言葉で記述できている。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。  技能→子音の発音や鼻濁音に気をつけながら歌詞のまとめを意識して歌うことができているが、身体の使い方がまだ十分に身についていないで、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	学習全体を振り返るワークシートにおいて「夏の思い出」の旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、作者にとって大切な場所である尾瀬をどのように表現すればいいのか、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現について、思いや意図をもっていることがうかがえる記述があった。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	どのワークシートにも自分なりの考えや他者と交流したときの意見などが記述されており、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を模索する様子がうかがえた。以上のことから、ワークシートによる評価については「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。  実際に歌唱する学習活動の際には、言葉の発音について工夫しながら表現の様子が見られたが、姿勢や発声に関する工夫にもう少し主体的に取り組めるとよいと観察記録に記録している。以上のことから、観察記録による評価については「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
8	鹿児島県	曲想と曲の構成を感じ取って表現しよう	【1】〔第1学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	技能→読み解いた楽譜の内容を根拠とし、どのように歌いたいかの思いや意図をワークシートに記述しており、歌唱活動においてもその部分を繰り返し練習するなどして表現方法を工夫する姿が見られた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	この曲における適切な表現方法について考え、「読譜」から得た情報をもとに積極的に発言したり歌い表したりしようとする姿が見られた。また、ワークシートに「読譜」により得た内容をもとに、どのように歌いたいかについての考えや方法についての記載があった。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	題材(全3時間)を通して、楽譜の内容に着目し、どのように歌いたいか繰り返し、粘り強く練習や意見交換に取り組む姿が見られた。また、それらの活動をもとにワークシートに自分の考えを記述し活動の振り返りと課題の再発見を行う事ができていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。
9	静岡県	「日本の歌の美しさを味わおう」 「曲の良さをプレゼンテーションしよう」 「様々なリズムを使ってアンサンブルをしよう」	【1】〔第1学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1) 【3】〔第1学年〕「A表現」(3)創作及び〔共通事項〕(1) 【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1) 【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1) 【7】〔第2,3学年〕「A表現」(3)創作及び〔共通事項〕(1) 【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識→テストで知識を問う問題で8割以上できていれば「A」、5割以上できていれば「B」と評価した。 技能→リズムテストで、自分が作ったリズムを正確に叩けていたら「A」、簡単なリズムに調節し、正確にできていたら「B」と評価した。(あらかじめ、得意な人は3種類以上の音符を使う、苦手な人は2つ以上と説明した)	思考→練習風景を見て、イメージに近づけるために演奏方法を工夫しているかどうか 表現→鑑賞で、ワークシートに根拠をもって曲の良さや感じ取ったこと(高い音が多くて明るいイメージだった等)を書いていたら「A」、曲の良さのみ(明るかった等)書かれていたら「B」	発言や態度を見て、自分の得意不得意と向き合っており、取り組む内容を調節していたら「A」
10	静岡県	詩の内容や言葉と旋律を理解し、曲に込められた思いや意図を考えながら歌唱しよう	【1】〔第1学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1) 【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→授業での説明やグループワークで得た知識に触れながら、試験でおおむね妥当な内容を書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。 技能→授業内で得た知識をどのように表現したら良いかを考えることができ、考えたことを実践できている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを知識し、思いや意図をもって歌唱表現を創意工夫している。また、それをワークシートにまとめ、グループワークをした際にそれらを活かすことができている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	毎時間の振り返りシートの記述では、分かったこと・できたことを書くだけでなく、自主的に取り組んでみたいことや次の授業で取り組んでいきたいことが書かれていた。また、グループワークを行った際、自分なりに考えたことを活かそうとする姿が見られた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。
11	静岡県	アルトリコーダー入門	【2】〔第1学年〕「A表現」(2)器楽及び〔共通事項〕(1)	「アルトリコーダー基礎練習」の学習プリントの基本(シドレミファソラシドレ)の運指を参考にして、ふさぐ穴を正しく理解しているか、生徒全員を個別に見て確認する。また、全員で音階練習をしている時に、生徒の指を観察して確認する。最終的には、定期テストの運指の問題がどれだけできているか、実技テストで正しくできているかで評価する。また、授業でタンギングとサミングの意味を問い、定期テストにも出題して知識が定着しているか評価する。「シ」の運指が正しくでき、上記のことがおおむねできていれば「B」と評価する。	音階練習と4小節の簡単な曲の演奏を通して、正しいタンギングとサミング、音の高さに応じた息のコントロールができているか聞き取る。また、個人練習の時間に生徒全員を見て回り、上手くできていない生徒にアドバイスをするとともに、音階や曲が正しく(正しいタンギング・運指・リズム・サミング)演奏できているか評価する。最終的には実技テストで評価する。タンギングがしっかりできていて、ほとんど曲が演奏できていれば「B」と評価する。	個人練習の時間などを精一杯使って、集中して練習に取り組んでいるか観察して評価する。個人的に受けたアドバイス(どのようなアドバイスを生徒にしたか、簡単にメモを残しておく)を、演奏レベルの向上に活用できたか、実技テストで評価する。アドバイスの8割程度を演奏に活かすことができているならば「B」と評価する。
12	東京都	ギターの音色と奏法との関わりを理解したり、基本的な奏法を身に付けたりしながら表現しよう。	【2】〔第1学年〕「A表現」(2)器楽及び〔共通事項〕(1)	知識?ワークシートにギターの美しい音色を表現するための姿勢・構え方、右手の使い方、左手の押さえ方や運指について、書いている内容でA、B、Cを判断した。 技能?一人一人の演奏で、正しい姿勢と構え方、アポヤンド奏法、フレットを押さえる位置、運指、メトロノームの拍にあっているか、速度、ミスを含めてA、B、Cを判断した。	ワークシートに課題曲の曲の特徴を正しく書いているか、ギターの音色や曲の特徴を生かす工夫が書かれているかについて、書いている内容でA、B、Cを判断した。	ワークシートの授業の振り返りに学習内容についてできたこと、できなかったこと、改善点などの内容でA、B、Cを判断した。 ペア練習時間の観察で、自分の練習中の様子、相手の練習中のかかわり方からA、B、Cを判断した。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
13	静岡県	「校歌の指揮を振れるようになろう!」 →歌を歌うことがほとんどできなかったため、指揮を振る活動をしました。	【2】〔第1学年〕「A表現」(2) 器楽及び〔共通事項〕(1)	技能→正しい姿勢や一定な速度を保って指揮をふることができ、また強弱も付けることができた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  知識→「どのように工夫をして指揮をふるか」を書く活動で歌詞や強弱から理由を考えることができ、おおむね妥当な内容を書いていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、音色や強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように指揮を振ったら良いかについて思いや意図をおおむねもっていることがうかがえる記述があり、指揮を振る活動に工夫が見られた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	生徒の毎時間の振り返りシートの記述では、できたことやできなかった点だけでなく、どうしたら指揮が良くなるか具体的に書かれていた。授業観察の記録では、どうしたら歌っている人に強弱が伝わるかを考えながら練習に取り組むことができていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
14	山口県	「曲の構成を感じ取って歌おう」「両手の運指やサミングに気を付けながら、吹き方を工夫しましょう」「音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう」	【2】〔第1学年〕「A表現」(2) 器楽及び〔共通事項〕(1)	知識→振り返りのプリントや期末テストの解答内容で、楽語など教科書の内容について理解できているかどうかを判断し、点数に応じてA～Cの評価をつけた。  技能→歌唱や器楽(リコーダー)のテストを行い、楽譜に準じて演奏することができたかどうかを判断し、演奏内容に応じてA～Cの評価をつけた。	振り返りのプリントで、音楽的な表現や楽器の音色や楽曲の構成について理解できているかを確認した。また、授業中の発言やリコーダーや歌唱の練習中の様子を見たとうえで、実技テストを行った際に、楽譜の指示に忠実に演奏できているかを判断し、A～Cの評価をつけた。	授業中の歌唱やリコーダーの練習などを通して、できないところを一生懸命に練習する様子や、うまくいかないところをどのように練習すればできるようになるかを自分で考えたり、教師に質問したりしながら主体的に練習に取り組む様子などを見て、A～Cの評価をつけた。
15	神奈川県	器楽「アルトリコーダー 左手による指使い」題材【喜びの歌】	【2】〔第1学年〕「A表現」(2) 器楽及び〔共通事項〕(1)	知識・技能→実技試験をもとに評価した。ゆっくりしたテンポで正確にトーンホールを抑えることができれば、「おおむね演奏することができ」と判断し、「B」と評価した。またフレーズにあったプレスや、指定のテンポで演奏することができていれば「十分演奏することができ」と判断し、「A」と評価した。	実技試験から、テンポやプレス、また曲の表現を意識しながらおおむね演奏することができて入れれば、「おおむね演奏することができ」と判断し、「B」と評価した。  また、曲想に合わせてプレスや音色など、普段から意識して取り組ませており、試験で「十分満足」の演奏ができる」と判断した場合は、「A」と評価した。	普段の練習や実技試験の際、振り返りシートに記述する。難しいフィンガリングの反復練習や、曲想にあったプレスの速さ、また他人の演奏と比較するなど、自分の欠点や改善点が書かれていれば、以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
16	静岡県	曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう。	【2】〔第1学年〕「A表現」(2) 器楽及び〔共通事項〕(1)	知識→「聖者の行進」の曲想と音楽の構造との関わりについて、理解している。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→創意工夫を生かした表現で「聖者の行進」を演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、「聖者の行進」の旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	生徒の振り返りシートに、「聖者の行進」の曲想を感じ取ってリコーダーの奏法を工夫することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。
17	北海道	カスタネットを用いたリズムアンサンブルに親しもう	【2】〔第1学年〕「A表現」(2) 器楽及び〔共通事項〕(1)	知識→カスタネットの音色や響きと基本的な奏法について理解しているものをBと評価した。  技能→授業の取り組みや発表会において、カスタネットの基本的な奏法を身に付け、合わせて演奏できているものをBと評価した。また、ワークシートの記述にある演奏の工夫	振り返りシートやワークシート(発表会事前・事後の記述)において、○自らがどのように演奏したいかという思いや意図について、○グループでどのような合奏の工夫をしたかという点について、○発表会の演奏の自己評価について適切な言葉で記述できているものをBと評価した。	振り返りシートの記述において、自分の演奏の良かった点、改善点や次回の目標が記述されているものをBと評価した。さらに、授業の取り組みの中で、仲間のアドバイスを取り入れて自分の演奏の工夫改善につなげるような姿や、合奏をよりよくするための適切な働きかけが見られた場合などに、Aと評価した。
18	東京都	基本的な音楽記号、休符、音符の種類を理解し、テーマにそってリズム創作に取り組み発表する。	【3】〔第1学年〕「A表現」(3) 創作及び〔共通事項〕(1)	知識→基本的な音楽記号、休符、音符の種類について理解をしている。  技術→カウントに合わせてリズムがたたけているとともに、相手を考えアンサンブルができている。  以上のことを、ワークシートやグループ活動、さらにグループ発表から判断し、評価する。  書ききれている、さらに発言の中で正しく言葉がつかえていれば「B評価」とする。	○強弱、形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ○知覚・感受しながら、音楽で表現したいイメージをもち、音楽材の特徴を感じ取って反復、変化、対照などの構成を工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 以上のことをワークシートやムーブノートでの活動から評価する。 自分の感じたことが箇条書きでも具体的に述べられていれば「B評価」とする。	音楽材の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心をもち、音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。  以上のことを、グループ活動や、発表での発言から評価する。  グループごとに工夫した点が複数あり、さらに、お互いに助け合いながら練習活動ができていれば「B評価」とする。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
19	神奈川県	リズムアンサンブルを楽しもう	【3】〔第1学年〕「A表現」(3)創作及び〔共通事項〕(1)	知識→リズムのつながり方を理解し、リズムパターンを創作している。 リズム同士の重なりの特徴を理解して、表現活動をしている。 ・各自のワークシートやグループ活動を通して評価。拍子に合うリズムパターンを作成ができ、グループ活動で生かされている。以上ことから「おおむね満足できる状況」と判断し、「B」と評価した。	思考→リズムのつながり方を生かして、リズムアンサンブルを創意工夫している。 ・各自のワークシートやグループ活動を通して、リズムのつながり方を生かしてリズム アンサンブルを創意工夫できている。以上ことから「おおむね満足できる状況にある」と判断し、「B」と評価した。	各自のワークシートより良かった点や改善点を記入し、リズム同士が重なって生まれるリズムアンサンブルに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしていることを確認できたので、「十分満足できる」と判断し、「A」と評価した。
20	東京都	リズムに親しみ、リズム創作をしよう	【3】〔第1学年〕「A表現」(3)創作及び〔共通事項〕(1)	技能→4分の4拍子・4小節のリズム創作を、反復・変化などの与えた条件に基づいて、音楽的な間違いがなく完成することができた。リズムの特徴と表したいイメージとの関わりを説明でき、内容も整合している。以上ことから「A」と判断した。	リズムの特徴と表したいイメージとの関わりを説明でき、内容も整合している。説明は音楽的にも妥当なものである。以上ことから「A」と判断した。	生徒の毎時間の振り返りシートの記述では、良かった点やできなかった点だけでなく、改善点や次への見通しなどが適切に書かれていた。授業の様子や提出物の状況などを入れ総合的に判断し、「A」とした。
21	滋賀県	3つの音を用いて、音高やリズムを工夫しながらイメージに合う旋律をつくらう	【3】〔第1学年〕「A表現」(3)創作及び〔共通事項〕(1)	知識→つくった音楽との関連についての説明で、フレーズの終止の特徴と言葉の高低の関わりを理解し、表したいイメージと関わらせて旋律とリズムの働きについて触れながら内容を書き進めれば「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→表したいイメージをもち、ルールや手順を踏まえてそれに沿った音楽をつくっていることが見て取れれば、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	音楽をつくる際の課題や条件に沿って、3つの音素材の特徴を生かしながら、どのように音楽をつくりたいか自分の思いや意図をおおむねもっている記述が生徒のワークシートにあり、それを生かした旋律がつけられていれば、「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	生徒の毎時間の振り返り欄の記述では、授業内で理解したことを書くだけでなく、1時間の中で学んだことを自分なりに生かして取り組むことでの姿勢や、次への見通しなどがしっかりと書かれていた。授業の中では、音楽をつくる課題や条件に沿って主体的に取り組む、他者の意見を取り入れ自分のつくった旋律の改善を重ねながら粘り強く取り組んでいた。以上ことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
22	山口県	音のつながり方の特徴を生かした旋律づくり	【3】〔第1学年〕「A表現」(3)創作及び〔共通事項〕(1)	知識:表したいイメージと「音素材」や「音の重なり方の特徴」の関わり方を捉えて2つ以上説明することができている。以上ことから「おおむね満足できる」と判断して「B」とした。  技術:自分が表したいイメージをもち、「音素材」や「音の重なり方の特徴」を生かした旋律を楽譜に表すことができている。以上ことから「おおむね満足できる」と判断して「B」とした。	リズムや旋律を覚覚し、これらの働きが生み出す特徴や雰囲気を感じ取りながら、どのような音楽をつくるかについて、自分の表現したい音楽、思いや意図を文章で説明することができている。以上ことから「おおむね満足できる」と判断して「B」とした。	毎時間めあて(その授業で身につけたいこと)と振り返りを書かせている。1時間の授業を振り返り、よかった点や頑張った点、できなかった点などを自分なりに書くことができている。以上ことから「おおむね満足できる」と判断して「B」とした。
23	東京都	リズムを組み合わせるリズムを創り、リズムアンサンブルをしよう	【3】〔第1学年〕「A表現」(3)創作及び〔共通事項〕(1)	知識→「音符の音価とリズムづくりの決まり」についての説明で音素材の特徴と構成上の特徴について、リズムづくりをイメージしながら発言することができた。以上ことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→作品を表現する際に「音符の音価とリズムづくりの決まり」についての説明と「おおむね整合しており、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能が見て取れた。以上ことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	工夫した点について、生徒のワークシートから創意工夫を生かしたリズムを表現するために必要な楽器の選択や組み合わせ、どのようにリズムを表現するかについて思いや意図を持っていることがうかがえる記述があり、作品発表に生かされていた。以上ことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。	生徒の毎時間の振り返りシートの記述では、自分たちのことだけでなく、他班のよかったところなども書かれていた。授業観察の記録では、様々なリズムパターンを試し、その中で自分たちの表現しやすいリズムを見つけようと班内で協力しながら主体的に取り組んでいた。以上ことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。
24	香川県	全体の構成を考えながら音楽をつくらう	【3】〔第1学年〕「A表現」(3)創作及び〔共通事項〕(1)	知識→使用する音素材(擬音語・擬声語)の特徴と重なり方や構成について、グループで考えたストーリー(3つの場面)の表現の仕方の説明(ワークシートへの記述)において、ストーリーの内容に触れながら「おおむね妥当な内容を書いている。以上ことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→作品と、グループで考えたストーリー(3つの場面)の表現の仕方の説明(ワークシートへの記述)が「おおむね整合しており、提示した条件に合った音素材(擬音語・擬声語)の選択及び重なり方や構成ができている。以上ことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	重なり方や構成を覚覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じたこととの関わりについて考え、どのようにストーリーを表現するかについて思いや意図をおおむねもっていることがうかがえる記述がワークシートより見られ、作品づくりに生かされていた。以上ことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	ワークシートへの振り返りの記述では、本時の感想だけでなく改善点や次時の見通しについての記述などが見られた。授業観察記録では、音素材の重なり方や構成についての工夫など主体的に取り組む姿が見られた。また、作品の録音を聴いて改善点をグループに提案するなど、作品を改善する姿勢が見られた。以上ことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
25	千葉県	音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくらう	【3】〔第1学年〕「A表現」(3)創作及び(共通事項)(1)	知識→「創作した音楽との関連についての説明」で、反復や変化などの構成上の特徴について、表現したいイメージとの関わりに触れながら概ね妥当な内容を書いている。以上のことから「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。 技能→「創作した音楽と、その関連についての説明」が概ね整合しており、課題や条件に合った音の選択や組み合わせができています。以上のことから「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。	「生徒のワークシート」に、音の重なり方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、音楽創作に対して思いや意図をおおむねもっていることがうかがえる記述があり、創作に生かされていた。以上のことから「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。	「生徒のワークシート」の記述では、良かった点や改善点、次への見直しなどが適切に記入されていた。授業観察では、他の生徒の創作や発言などから、その良さに気づくことができ、自らの創作をさらに見直して工夫し、主体的に取り組んでいた。以上のことから「十分満足できる」と判断し、「A」と評価した。
26	静岡県	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び(共通事項)(1)	知識→演奏に使用されている弦楽器について、音の鳴る仕組みや楽器の大きさと音の高さの関係について判断することができた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。	生徒のワークシートに、情景をイメージしながら音色や音の重なり方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、作曲者がどのような思いをもって作曲したか考えを述べることでできた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。	生徒のワークシートの記述では、なぜそのように感じたのか根拠のある記述があった。授業観察の記録では、自分の考えを相手に伝えようと主体的に取り組む、発言も多々他者の意見も取り入れていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
27	静岡県	「楽曲の構成を感じ取って聴こう。」～『ラデツキー行進曲』	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び(共通事項)(1)	「知識」→音楽を形作っている要素(強弱・構成)、拍子などを感じてワークシートに記述している生徒を「B」の評価とした。 「技能」→鑑賞であるため、とくに技能面での評価はしなかったが、身体表現(足踏みをして拍を感じ取る・2拍子の指揮をする・体を揺らすなど)を行った。	音楽がどこで変化するかを感じながら、楽曲の構成を理解していく。生徒のワークシートには、構成によって強弱の変化、それらが生み出す音楽の雰囲気の変化などに気づき、それが楽曲のよさに結びついている記述がある生徒を「B」と評価した。	毎時間の振り返りカードの記述では、1時間の授業を振り返り、考えが深まったこと、理解できたことなどを記述でき、客観的に分析し、次の授業に生かしていく姿勢が見られる生徒を「A」と評価した。また、他の生徒とよいかかわりを持ち、積極的に授業に参加している様子なども主体的な取り組みとして評価している。
28	静岡県	音楽の要素に注目してジョーズのテーマを聴こう	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び(共通事項)(1)	知識→ワークシートへの取り組みから、曲想と音楽の構造との関わりについて、曲想の移り変わりを曲の構造とを十分に結びつけて記入できていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	ワークシートへの取り組みから、音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特徴や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	鑑賞中の様子やワークシートに取り組む様子から、音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に鑑賞の学習活動に取り組むことができていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。
29	埼玉県	ソネットの情景を思い浮かべながら鑑賞しよう「春―第1楽章―」ヴィヴァルディ作曲	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び(共通事項)(1)	知識→ソネットごとに鑑賞し、ヴィヴァルディがソネットの情景をどのように音楽で表す工夫をしているかをワークシートに記入する。工夫点として、音楽的特徴(旋律の特徴や楽器の音色、強弱、音の重なり方)を聴き取り、おおむね妥当な内容を書いている場合、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。音楽的特徴を聴き取るだけでなく、それらがソネットが表す情景とどのように関連しているのか理解して鑑賞できていたら、「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。	本題材のまとめとして、ワークシートに「春」のよさや面白さを紹介する文章を書く。これまでの学習内容(リトルネット形式、弦楽合奏、ソネット)についても触れさせ、それらのどこがよいと思ったのか、面白いと感じたのか自分の考えを書けていたら「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。それだけでなく、根拠(音楽的特徴など)をもって楽曲を評価できていたら「十分満足できる」状況と判断し「A」と判断した。	授業への取り組みの様子やワークシートの内容、振り返りシートの記述で評価している。振り返りシートでは毎時の目標に対して分かったことやできるようになったこと、気づいたことや感じたことを書いていたら「おおむね満足できる」状況として判断し「B」と評価した。その他に、改善点や次への見直しなどが適切に書かれていた場合「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
30	東京都	歌曲の響きを楽しもう「魔王」	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び(共通事項)(1)	作詞者、作曲者について解説したことを理解していたか。「魔王」の詞の内容を理解していたか。ピアノ伴奏の強弱記号、音符の種類を理解していたか。十分満足できる生徒はAとした。	「前奏のピアノ伴奏は何を表現しているのか」「魔王が歌っている時のピアノ伴奏の変化を感じ取れていたか」「歌手が登場人物によって声色を変えていたのを感じ取れていたか」「歌手が登場人物によって表情を変えながら歌っていたのを感じ取れていたか」「歌手が登場人物によって視線を変えていたのを感じ取れていたか」「ポイントを押さえて感想を記入出来ていたか。十分満足できる生徒はAと	プリントに詳しく自分の考えを記入できていたか。主体的に音楽を聴こうとしていたか。他者の意見と自分の意見を交換しながら話し合っていたか。十分満足できる生徒はAとした。
31	静岡県	「イメージと音楽を関わらせて聴こう」	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び(共通事項)(1)	「思い浮かぶイメージは?なぜそう感じたのか説明しよう」の場面(記述欄)で、  知識→(音色)〈旋律〉(強弱)等の音楽的要素の特徴を正確に捉えて音楽の変化について気付いたことを発言(記述)している内容がおおむね満足できるものをBとした。  技能→音楽的な特徴が、楽曲の雰囲気や情景にどのように関連しているのかについて、話し合ったり記述したりした内容におおむね満足できるものをBとした。	映画音楽や表題音楽について鑑賞したワークシートの記述や授業での発言のなかに、〈音色〉〈旋律〉(強弱)〈リズム〉(速度)等の特徴や変化を具体的に聴き取った内容が明確に表れており、その要素がどのように曲想の変化に関連しているのかについて自分自身で気付いたことや感じ取ったことがおおむねうかがえる記述があった。また、曲の良さや特徴について肯定的に捉え感じ取った記述や発言があったため、以上のことからおおむね満足と判断しBとした。	鑑賞した楽曲や音色について、その良さを自ら感じ取ろうとする、自ら詳しく知ろうとする発言や態度が見られ、既習事項の知識を活用しながら、新しく学ぶ形式や音楽的特徴についても理解し、鑑賞や話し合いの活動に主体的に取り組む様子が見られた。学習のまとめでは、音楽から聴き取った特徴と感じ取った楽曲の良さにふれて書かれており、関連する楽曲や身の周りの音楽にも関心をもつようになっていた。以上のことから十分満足できると評価し、Aと判断した。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
32	東京都	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。～「春」第一楽章～	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	ワークシート  「作曲者はA～Eのソネットをどのように表現しているのか」という問いに対して、それぞれの音楽的要素に気づき、具体的な情景や感情のイメージができていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	ワークシート 演奏の映像を見ながら、考えたことをもとに、各楽器の特徴や演奏方法などと関連させて鑑賞文を書くことができていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	ワークシートでは、リトルネッロ形式の特徴について考え、法則性について、自分の言葉で表現できていた。話し合い活動を通じて、自分の感じたことやイメージした情景を、他者へ伝えることが積極的にできていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。
33	静岡県	バロック時代の音楽とピリオド楽器の学習を通して世界を知ろう	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	ノートへの記入及び口頭での発表内容から知的探求心をもって取り組んだことがうかがえる。発表のために必要な知識を調べ得ることはできたが、もう一歩踏み込んだところまでは至らなかった。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	学習への取り組みを通して、人との比較や簡易な内容ではなく、自分なりに調べまとめようとする姿勢がうかがえた。発表のための文章記入においても、紹介すべき項目についてよく判断し、取り扱うことができた。自らの趣向を踏まえ、独創性ともとれる言動と結果を示すことができたため、「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。	授業者とのコミュニケーションの中での態度や発言においては主体的な取り組みと言い難い面があるが、授業での課題やノートの記入内容、発表時の様子には前向きさが見つけられる。自ら学習を調整し、諦めずに学習に取り組もうとする姿勢がみられるため、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。
34	神奈川県	「情景や心情と音楽の関わりを感じ取ろう」	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	定期テストにおいて、楽曲に関わる知識(作曲者、時代、国、登場人物など)を問い、おおむね満足できる回答が得られたため、「B」とした。	ワークシートにおいて、旋律や伴奏の雰囲気、強弱や高低の変化を知覚し、それらが生み出す感情や情景を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについての的確に考えて具体的に記述しているところから、「A」と評価した。	ワークシートでは、できるだけ具体的に聞き取り自分の考えを記述しようとしている様子、また友達の見解を参考にしながら自分の考えを広げたり深めたりしている様子が見とれる。また、授業観察では仲間と積極的に意見交換をし、自分の考えに固執することなく作曲者の思いに迫ろうとしていた。以上のことから「A」と評価した。
35	東京都	「音楽の特徴をとらえながら、情景を思い浮かべて聴こう」	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	ワークシートに表現したいイメージとのかかわりについて触れながら、曲想と音楽の構成とのかかわりについて理解する記述がおおむね見られた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	ワークシートに、音色や音の重なり方などを知覚し、それらの働きが生み出す特徴や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、表現したいイメージとの関わりについて具体的な考えや意図が読み取れる記述があった。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。	ワークシートの記述では、曲と音楽の特徴を捉え、具体的な考えや理由などが適切に書かれていた。授業観察の記録では、他者の考えを取り込みながら学習活動に興味を持って取り組んでいる。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
36	静岡県	日本に古くから伝わる合奏を聴こう	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。→授業で扱った内容が概ね記入されればBと判断し、ワークシートなどで判断できない側面を授業中のつぶやきや発言などの観察で補完した。	音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、味わって聴く。→個人で考えた後でグループ活動を設定したことにより、学びを定着させ深めることができた。共通性を見出し、意欲的な反応を見せていた生徒はA評価。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。→?と一体的に行ったため省略。
37	東京都	歌唱で物語を表現する面白さを感じ取りながら、楽曲の構成を味わおう(魔王)	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識→音楽を構成する音素材や声の変化を感じ取り、楽曲が表現したいイメージに触れながら登場人物の特性を感じ取っている(発表・ワークシート)  技能→登場人物の表現の違いについてそれぞれ説明が出来る。また、伴奏の形や楽曲の雰囲気の变化を理解して説明が出来る(発表・ワークシート)  上記について「十分満足できる」と判断し、Aと評価した。	音色や音の重なり方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように楽曲が構成されているかについて思いや意図をおおむねもっていることがうかがえる記述や発表をしている(ワークシート・発表)  上記について「おおむね出来ている」と判断し、Bと評価した。	ワークシートの記述において、楽曲のもつ良さや特徴をより多く感じたり探そうと主体的に取り組むをしており、作曲者の他の作品や、歌唱者が変わった時の表現の変化も踏まえ、意欲的に鑑賞しようとしている。上記について「十分満足できる」と判断しAと評価した。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
38	東京都	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて鑑賞しよう	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	・評価について  楽曲の特徴(協奏曲の特徴、ソネット、リトルネッロ形式)について理解している。  ・評価資料及び評価方法  ワークシート、定期考査にて評価。  ・評価規準  ワークシートの記述状況、定期考査での回答	・評価について  ソネットから音楽の特徴を想像し、「リズム」「旋律」「音色」「強弱」ごとに記述する。  楽曲を鑑賞して音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、ソネットとの関わりについてまとめる。  ・評価資料及び評価方法  ワークシートにて評価  ・評価規準  「リズム」「旋律」「音色」「強弱」を正しくとらえ、記述している(B)	・評価について 「春」の第1楽章の良さについて、気に入っているソネットを一つ挙げて、その根拠を述べてまとめる。 「秋」の第3楽章の演奏を視聴して、「ヴィヴァルディが情景(ソネット)をどのように表現しているか」を感じ取って記述し、さらに「演奏の良さ、独奏ヴァイオリンの技術や表現」についてまとめる。 ・評価資料及び評価方法 ワークシートにて評価 ・評価規準 「リズム」「旋律」「音色」「強弱」を正しくとらえ、記述している(B)
39	宮城県	曲の雰囲気や音楽の諸要素との関わりが気付き、音楽のよさを味わおう  「春～第1楽章～和声と創意の試み第1集[四季]より」	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識:「曲はどのように成り立っているか」について考え、「音楽の諸要素」について理解を深めることができる。また、曲を聴いて、音楽の諸要素に気付くことができる記述がワークシートから見られ、「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。	場面ごとに曲を聴き、旋律やリズム、音色の特徴を知覚することができる。また、曲を聴いて感受したことを記述できることから、「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。また、知覚したこと、曲を聴いて感受したことを関係付けて自分の考えをまとめ記述することができることから、「十分満足できる」と判断し、「A」と評価した。	本時の学習目標に対し、曲を聴いて感じ取ったことが、音楽のどの特徴によるものなのかを実感した記述が自己評価表に見られることから「十分満足できる」と判断し、「A」と評価した。
40	埼玉県	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識→曲想について、初めて曲を聴いた第一印象を曲の雰囲気や曲想の変化について、自分なりの言葉でワークシートに感想を記入している。以上の事から「概ね満足できる」と判断し、「B」と評価した。  技能→曲の雰囲気や曲想の変化について音楽の特徴(強弱・速度・リズム・音の高低・音色)をもとに具体的に説明している。以上の事から「概ね満足できる」と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えているかについて思いや意図をもっていることがうかがえる記述があった。以上の事から「概ね満足できる」と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに曲のイメージを簡単なイラストで描いたり、自分なりに曲名を考えたり、その題名をつけた理由を考える項目に答えさせた。話し合い活動をする場面で、自分の思いや意図を他の生徒に身振り手振りをもたせて伝えていた。以上の事から「十分満足できる」と判断し、「A」と評価した。
41	静岡県	「イメージと音楽との関わりを感じ取ろう」	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識→映画「ジョーズ」からジョーズのテーマを聴き、楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱と曲の雰囲気との関わりを感じ取り、曲想と音楽の構造との関わりについておおむね妥当な内容を書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	ジョーズのテーマの良さや美しさを感じる場面で、音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽の良さや美しさについておおむね妥当な記述がある。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	音楽の要素に触れながら、音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組んでいることが感じられるワークシートの内容や、授業中の発言を評価し、「十分満足できる」生徒を「A」とした。
42	静岡県	「春」第一楽章 創作	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	ソネット・楽器など、基本的なことを小テストで評価した。	ジェスチャーにならないように、グループで動きを含めた表現活動を工夫し、評価した。	授業後の振り返りシートの記述で評価した。
43	静岡県	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	〈ワークシートによる評価〉  ソネットと曲調の関わりについて  「A」音楽を聴いたときに適切なソネットと特徴を書き込むことができる。  「B」音楽を聴いたときにおおむね適切なソネットを書き込むことができる	〈ワークシートによる評価〉  ソネットの内容と音楽の構造について  「A」音楽の特徴や感想について音楽用語を適切に使って表現できる。音色や奏法とのかかわりを感じ取って書き込むことができる  「B」音楽の特徴や感想を音楽用語を使いながら自分の言葉で書くことができる。	〈ワークシートによる評価〉 楽曲について調べよう・学習後に感じたこと・気づいたことについて「A」時代や国の文化との関わりが気づくことができる。他の標題音楽との比較ができる。 「B」時代、作曲家、楽器構成などを適切にまとめられる。標題音楽の特徴に気づくことができる。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
44	香川県	音楽の特徴と詩との関わりを探ろう「春」	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識→「春」第1楽章を聞いて分かったことや気づいたことについて、演奏される楽器の音色、強弱、旋律などの音楽を形づくっている要素と曲想との関わりに触れながら記述できている。以上のことから、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	ワークシートに、「春」第1楽章の旋律や強弱を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自分なりの音楽のよさや美しさを記述できている。以上のことから、「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	学習の全体を振り返って、学んだことについて、授業での学習内容を踏まえて記述できている。観察記録より、自分が知覚・感受したことや他者の気づきを基に、自分なりの根拠をもって対話、発言している様子が見受けられた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。
45	山口県	イメージをもちたず音楽の秘密を探ろう。	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	速さや高さ、強弱などを変えて旋律をピアノで弾き、比較聴取することで、感じ方の違いに気づいている内容を生徒のワークシートに書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自分なりに考えをもっていることがうかがえる記述があった。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む、他者の意見にもしっかり耳を傾け、自分なりの考えの伝え方を改善していった。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。
46	静岡県	作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1) 【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識→「音楽の特徴」「背景となる文化や歴史」との関わりについて理解し、そのことに触れながら、おおむね妥当な内容を書いている。以上のことから「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。	思考→音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、感じ取り、音楽の良さや美しさを味わって聴きまとめることができる。どのように音楽をつくるかについて作曲者の思いや意図をおおむねもっていることがうかがえる記述がある。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「A」とした。	音楽の特徴と、その背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら活動できた。また、ワークシートに記入をしたことを基に意見交流をした際、積極的に自分の意見だけでなく、仲間の意見も取り入れながら、さらに作曲者の思いや意図についてせまることができたことが、振り返りの記述から伺うことができた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。
47	静岡県	題材名「詩の内容や音楽の特徴を理解して、音楽のよさや美しさを味わおう」 教材名「魔王」	【4】〔第1学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1) 【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識→「詩の内容や音楽の関わり」においての説明で、音楽的要素にふれながら、教材のもつ特徴について適切な内容を書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、詩の内容からイメージされた情景が、音楽的要素である強弱や旋律、音色の働きによって表現されていることや、知覚したことと感受したことの関わりについて書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	グループ討議時の授業観察記録において、登場人物である子供の音楽的な特徴をつかむために、グループの中心となってポイントとなる音楽的要素をしばらくしながら、主体的かつ協働的に取り組んでいた。また、ワークシートには、別の単元で学習した内容を活かした記述が見られた。以上のことから「十分満足できる」と判断し、「A」と評価した。
48	東京都	声部の役割や全体の響き、曲にふさわしい表現を工夫して歌おう。	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→楽譜に書き込まれた言葉や記号などから、雰囲気や表情、味わいなどが、どのような音楽の構造や歌詞の内容によって生み出されているかを捉えていることがワークシートからわかる記述を「おおむね満足できる」と評価した。 技能→創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能について学習した内容が歌唱表現に表れているものを「おおむね満足」とし、評価する。	ワークシートに曲の一部分を載せ、そこでの強弱や表現の工夫を記述する欄を設けた。楽曲の構成や声部の役割、テクスチャ、強弱について、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながらグループ練習を重ね、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっていることがうかがえる記述がある場合を「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価する。	楽曲に関心をもち、自分が知覚・感受したことや他者の気づきなどを基に、どのように歌うかについて考えたり他者と共に歌い試したりする様子が見て取れるか。 また、ワークシートの学習の振り返りにおいて、自分が学んだことについて授業での学習内容を踏まえて書いている記述を「十分満足できる」と評価する。
49	静岡県	歌詞が表す情景や心情を思い浮かべ、作曲者の表現意図を考えて、曲にふさわしい表現を工夫して歌おう	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	ワークシートに「荒城の月」「早春賦」のリズム、速度、旋律、強弱の特徴を書かせ、それらの働きが生み出す特質を感じとっているわかる記述があればBとした。	ワークシートに「荒城の月」「早春賦」について知覚したことや感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい表現について思いや意図をもっていることわかる記述があれば、Bとした。	独唱発表会に向けて、「荒城の月」「早春賦」の特徴をつかみ、見直しをもって練習したこと、級友の独唱を聴いて気づいたことをアドバイスすることを通して、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の授業に取り組んだことがわかる歌唱、ワークシートの記述があればBとした。
50	静岡県	「曲調と歌詞との結び付きに着目し、曲にふさわしい表現を工夫して歌おう」	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→表現の工夫をする際に、強弱や速度等の音楽を形づくっている要素に着目して考えていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。 技能→歌う時の姿勢を意識し、のびのびした発声で歌った。また、自分で考えた表現の工夫を生かそうと強弱等意識して歌い、聴いている側にその工夫が伝わっていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	まず歌詞から思い浮かぶ情景をイメージさせた際に、自然の中にある美しさ等、歌詞から豊かに想像を膨らませた。また、生徒の楽譜には、曲調と歌詞の結びつきを意識させ、どのような気持ちで歌いたいか、強弱や間はどうするか、考えたことが書き込まれていた。どうしてその強弱記号にしたのか等の理由ももっていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。	生徒に配布した楽譜に、どのような工夫をしたらよいか歌いながら書き込みをさせ、書き込み具合をチェックした。授業観察の記録では、練習をしながら書き込みを変えさせたり、主体的に取り組む、他者と相談をしつりして改善を重ねていた。そして、自分で考えた工夫を表現しよう、のびのびした声で歌った。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
51	静岡県	「旋律や歌詞の内容を手がかりに、歌い方の工夫をしよう」	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→既習の知識を使って考えられたか 技能→曲にあった表現をするために正しい技能が身につけているか	自分たちの表現したい部分を決め、表現するためには、どのような声色でどのような強弱でどのような歌い方で歌ったら良いのか取捨選択して歌えているかどうか	話し合いを通して、自分たちがどのように表現したいのか考え、ワークシートにまとめられているかどうか。



番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
52	東京都	「歌詞の美しさを味わって歌おう～花」	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	歌唱テスト、譜面の記号他。	歌唱テストの「がんばり表」に自分でできた点、上手く歌えなかった点などを記入。 歌唱テストへ向けての「ワークシート」＝歌詞の上に強弱記号やどう歌いたいか、を記入。	歌唱テストの「がんばり表」に、練習の注意点や取り組み、改善点を3～4回分表にして、縦に経過を追えるように、しかし量は多くなく、書きやすく見やすい量で毎回の気づき変化を記入。
53	静岡県	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→「言葉のまとめやメロディーの流れの説明」で、歌詞を文節で区切ることで休符の意図を理解したり、言葉の抑揚とメロディーの流れを理解したりして、おおむね妥当な内容を書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。 技能→言葉とメロディーの流れの関連がおおむね整合しており、言葉のまとめを感じられる歌い方ができる。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断するとともに、さらにフレーズ感をもって音程正しく、姿勢正しく歌うことができている。以上のことから「十分満足できる状況と判断し、「A」と評価した。	歌詞から情景を絵にしてみたり、時間、天気、隅田川のの流れ、船の形状等をプリントに言葉でまとめたりすることでイメージもった。知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現を工夫するかについての思いをおおむねもっていることがわかる記述ができている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒の毎時間の振り返りシートでは、良かった点(努力したこと)やできなかった点だけではなく、改善点や次への見通しなどが適切に書かれていた。授業観察の記録では、指示した時間の中で友達と互いに確認しあったり、教師へ助言を求めたりと主体的に取り組んで歌唱の技能を高めようとして取り組んでいた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。
54	東京都	歌詞にあった表現を工夫しながら、表情豊かに「花」を歌おう。	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	「花」の実技テストでは音程やリズム、歌詞、発声など正しくしっかりできていて、その曲に関わる音符・休符や階名・音名、歌詞などよく理解していたので、「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	いろいろな記号や歌詞からどのように表現するとより豊かな演奏になるか、生徒のワークシートに教科書に書かれている表現や記号を使ってまとめているものに対し、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。教科書に書かれている表現や記号に自分の気持ちも入れ、よりわかりやすく表現されているものに対し、「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	「花」の実技テストの振り返りシートで、良かった点やできなかった点だけでなく、改善点や次への見通しなどが適切に書かれていた。2学期の合唱へもつながる内容だったため、「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。
55	静岡県	日本の歌の美しさを味わおう。作詞者の思いと、その思いを伝えるための作曲者の工夫を感じ取りながら歌おう。	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識:「歌詞の意味と作詞者の思い、その思いを伝えるための作曲者の工夫について」で歌詞・作詞者の思いと音符やリズム、強弱記号等との関わりと雰囲気に触れながら、概ね妥当な内容を書いているので、「概ね満足できる状況」と判断し、「B」と評価した。  技能:作詞者の思いを伝えるために、言葉や楽譜に書かれているリズム・強弱記号を意識した歌唱表現が概ねできている。以上のことから「概ね満足できる状況」と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、歌詞・作詞者の思いと音符・休符やリズム、強弱記号等との関わりについて知覚し、またそれらが生み出す雰囲気を感じながら、どのように歌唱表現するかについての思いや意図を概ねもっていることがうかがえる記述があり、歌唱テストにも生かされていた。以上のことから「概ね満足できる状況」と判断し、「B」と評価した。	iPadを利用した生徒のワークシートに、自己表現目標が書いてあり、練習途中経過の録音がされている。自分の演奏を聴いて、良い点やできていない点、歌唱テストに向けての課題が適切に書かれていた。また、歌唱テスト本番の録音を聴いての振り返りや今後の歌唱についての見通しも適切に書かれていた。授業観察では、自己表現目標に向けて、何回も録音を聴き直しながら繰り返し練習し、改善を重ねていた。以上のことから、「十分満足できる状況」と判断し、「A」と評価した。
56	静岡県	言葉と旋律のリズムとの関係を確認して、歌詞が生きるように歌い方を工夫しましょう。	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	「花」歌詞の内容と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。	リズム・速度・旋律・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「花」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。	「花」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で長く歌われている歌曲を親しむ。
57	静岡県	「曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう」	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→生徒のワークシートから、曲想から生み出される音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて、おおむね妥当な内容を記入している。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。 技能→演奏の観察から、おおむね妥当な音色・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付け、曲想に合わせた歌い方ができている。以上のことから「おおむね満足できる」状況だと判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽を表現するかについて思いや意図をおおむねもっていることがうかがえる記述があり、表現に生かされていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	授業の観察記録では、歌詞や構造から生み出される曲想の違いを表現しようとパート練習に積極的に取り組んだり、他者と自らの声を客観的に聴きながら、さらなる表現の工夫をしようと活動に取り組んでいた。また、日々の振り返りシートには、学習に対する自分の反省だけでなく、次回の授業に向けた改善点や工夫を記入していた。以上のことから、「十分満足できる」と判断し、「A」と評価した。
58	静岡県	混声三部合唱「時を越えて」	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→曲の歌詞や楽譜にある記号から具体的にどのように歌うべきか考えることができた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→課題だと感じた部分に対して創意工夫した歌い方を強弱やリズムを使って歌うことができている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	各パートの重なり方や曲想から生まれる楽曲の雰囲気から、適切な歌い方を創意工夫し、思いや意図を持って歌うことができた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。	振り返りシートの記述では、自分や全体の歌唱について良かった点やできなかった点だけでなく、改善点や次への見通しなどが適切に書かれていた。授業内でどのようなことを学び、次からはそれを生かしてどのように歌いたいか書くことができた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
59	静岡県	歌詞が表す情景や心情を思い浮かべながら、表現を工夫しよう	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→「曲との出会い」の場面で、曲を鑑賞し、歌詞や音楽から感じる雰囲気やイメージと音楽的な特徴とを結びつけ、曲のつくりについておおむね妥当な内容をワークシートに書いている。以上のことから、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→「どのように歌うか」についての自分なりの思いや意図が、おおむね表現と結びついている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて、思いや意図をおおむねもっていることが、ワークシートや楽譜への書き込みから伺えた。以上のことから、「おおむね満足できる」と判断し「B」と評価した。	毎時間の振り返りシートの記述では、できたこと、わかったことに加え、次への課題や疑問点の記載、また、それらをどのように解決していくのかについて、自分なりの考えが具体的に書かれていた。授業観察の記録では、曲の鑑賞や歌唱活動、ペア学習、タブレットを活用した学習など、学習の積み重ねを通して、試行錯誤しながら表現に生かし、改善を図っていた。以上のことから「十分に満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
60	東京都	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に合唱しよう。	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→音楽の構造、旋律やリズムの工夫、2部合唱が1番～3番の歌詞によって変化していることなど、曲の背景を確認しながら、プリント学習で復習させた。内容が満点の場合は、「A」と評価した。 技能→音符、休符の名前や長さを理解して、詩によって工夫されたリズムをきちんと歌唱で表現できた。「おおむね満足できる」と判断した場合、「B」と評価した。	プリント学習で、上記の内容を理解し、すべてを記入していたもの、また確実に理解したものに関して「十分に満足できる」と判断したものは「A」と評価した。 実技テストで、歌唱表現が優れていたもの、正確に音程、リズムをとれていたものは、「A」と判断した。	生徒の毎時間のワークシートで、内容が適切に書かれていた。授業観察で、毎時間主体的に取り組む、教員からのアドバイスを取り入れ改善を重ねていた。このことから「十分満足できる」と判断し、「A」と評価した。
61	静岡県	歌詞が表す情景を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫しよう	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→歌詞を読んだり、作詞者、作曲者の思いや教科書等の資料を見たりしながら、歌詞の表す情景や心情、楽曲の雰囲気などを書き出す文章を見て、おおむね妥当な内容を書いている。以上のことから、「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。 技能→ピアノの音を聴いて、旋律を確認していく活動で、音程やリズムを意識して歌っている。以上のことから、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	歌詞から想像する情景にふさわしい歌い方を考え、練習の振り返りをするプリントに、どのように音楽を作っていくかについて、思いや意図をおおむね持っていることがうかがえる記述があり、歌声にも生かされていた。歌唱表現にも表れていた。以上のことから、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	振り返りのプリントの記述に、出来るようになった点や、出来なかった点だけでなく、次への見直しなどが、適切に書かれていた。また、他者のアドバイスを取り入れ、練習を重ね、歌唱の改善が見られた。以上のことから、「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。
62	東京都	花 情景を想像しながら表現を工夫して歌おう。	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→楽曲の音楽的な特徴をとらえた後に、気づいたことや分かったことをワークシートにまとめる。音楽的な特徴に触れながら概ね妥当な内容を書いているればBと評価した。  技能→練習や実技テストで適切な発声、発音、音程、強弱等で歌っていればBと評価した。	ワークシートに音楽的な特徴にそった音楽表現の工夫が概ね書かれていればBと評価した。	各時間の振り返りの記録や、他者発表を聴いて感じたことが概ね書けていればBと評価した。
63	神奈川県	翼をください	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	技能→自分のパートを歌う実技テストにおいて、発声や正確な音程が取れているかなどを確認し、「おおむね満足できる」と判断したものをB評価とした。	毎回の歌唱練習ワークシートに、工夫したことや課題となることを記入し、それを次回の練習にどのようにつなげていったのかの記述から、どのように音楽を作るかについての思いや意図を読み取り、「おおむね満足できる」と判断したものをB評価とした。	歌唱練習ワークシートの記述に、パート内の意見を取り入れ、自分なりに工夫を重ねた結果、よりよい音楽を作っていく主体的な取り組みの様子が見え、あわせて、授業観察においても、記述内容と同じ取り組みが見られ、「十分満足できる」と判断しA評価とした。
64	静岡県	「曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう」	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→楽譜に書かれた強弱記号と歌詞との関わりについて理解しているかどうかワークシートのいくつかの書き込みから読み取り、おおむね妥当な内容を書いていた場合、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→自分のパートを、言葉の発音や身体の使い方などの技能を身に付け、正しい音程で強弱記号を意識して歌っているかを、歌のテストで個別で聴き取り、状況に応じて評価した。	生徒のワークシートから歌詞と曲想記号との関係や8分の6拍子の特徴、斉唱から3部合唱への移り変わりによる雰囲気の変化を感じ取って、それらをどのように表現するかについて自分の考えをまとめているかを読み取ったり、歌のテストからその思いが実際の表現に結びついているかを判断し、「おおむね満足できる状況」と判断したもののについては、「B」と評価した。	生徒の毎時間の振り返りシートの記述から自分の取組について改善点や次時の課題について適切に書かれていたり、試行錯誤するような内容が書かれていたりした場合や授業観察の記録の中で、意欲的に歌唱活動やパート練習に取り組んでいる姿や仲間と関わりながらよりよい表現を工夫しようとしている姿が見られたことから、「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
65	神奈川県	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→主旋律や副旋律など音楽の特徴を理解してワークシートに記入している。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。 技能→それぞれの部分の伴奏の特徴をつかみ班で話し合い、おおむね妥当な内容を書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、音楽の特徴や伴奏の特徴を根拠として、どのように工夫して歌うかパートで話し合い、おおむね意図もっていることがうかがえる記述がある。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	どのように工夫して歌うか、パートの他の人の意見を聞き、歌い比べたりしている。また、授業の振り返りで、「翼をください」を通して学んだことを、音楽の特徴を根拠に述べている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
66	静岡県	「春らんまんを目指せ！」 (本単元での「春らんまん」とは→曲に合った曲想表現の工夫をして、聴き手が春らんまんの隅田川をイメージできるように歌うことができること)	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→歌詞と強弱や旋律の動き、リズムなどの関わりを理解し、曲の雰囲気を生み出す音楽の要素に触れながらおおむね妥当なことを書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→思考・判断・表現の部分で、授業で得た知識をもとにしながらどのように歌いたいかを考え、それを表現するために必要な発声方法や曲想表現をおおむね身に付けて歌唱に取り組んでいる。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	音楽を形づくっている要素に着目し、音楽から感じる雰囲気と聴き取った音楽の特徴を結びつけながら考えており、歌詞や音楽が表現している曲の雰囲気を表現するために自分はどういう意図を持って歌いたいのか、おおむね妥当なことを書いている。以上のことから「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。	毎時間の振り返りで自己の変容を振り返り、単元の最初と最後で表現の仕方や思考の仕方に変化があったかどうかを考える。単元のテーマに対して自分の思考や表現の仕方がどうであったかを考え、その積み重ねを評価した。また、グループワークの様子や授業中の発言等にも自分の歌唱や思考について振り返る様子が見られ、より歌唱の質を高めようと学びの調整を行っていた。以上のことから「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。
67	静岡県	混声四部合唱「春に」	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	歌唱テストにおいて、音程・リズムに気を付け、正しく自分のパートを歌うことができた。合唱の中で、他のパートの響きを聞きながら、自分の役割を果たしていたためAと評価した。	曲について調べた知識を生かし、どんな声質で歌おうか考えることができ、表現の幅を広げていた。作詞者の詩に込められた思いや作曲者の曲の作り方を意識し、歌唱テストにおいて、強弱や発音を上手に生かしながら歌い表したため、Aと評価した。	パート練習の中で、積極的に発言し、何度も音を確認したり歌い方を確かめて練習を深めていたので、「満足できる状態」でAと判断した。
68	奈良県	歌詞の内容と旋律や強弱との関わりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌おう。	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→楽譜中の言葉や記号から、楽曲の雰囲気や表情などがどのような音楽の構造や歌詞の内容によって生み出されているかをおおむね妥当な内容を書いているので「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。  技能→創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、発音、身体の使い方などがおおむね妥当に表現できているので、「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	生徒のワークシートに感じ取った曲想や音楽の構造、歌詞の内容に触れながらどのように歌いたいかについて思いや意図を持っていることがうかがえる記述があり、「おおむね満足できる状況」と判断し「B」とした。	授業後の振り返りシートではよかったところやできなかったところ、また改善点など次への見通し、グループでの話し合いで自分自身が参考になったことなどがおおむね満足できる状況で記述されていた。「おおむね満足できる状況」と判断し「B」と評価した。
69	静岡県	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう「夢の世界を」	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→曲想を考えるにあたって必要な音楽の知識が基本的に身に付いており、それを使って楽曲について記述をしたり、説明したりすることができるため、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→自分たちで考えた曲想をつけながら歌唱表現をすることができるための基礎的な技術(発声、姿勢、呼吸、音感等)が個別の歌唱テストや日々の歌唱練習などの観察により「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒が一人ひとりワークシートに書いた曲想について、どのような思いや意図があるのかを聞き取り、それを学級全員で発表し合い、共有することで、楽曲へのイメージを固めていく。これらの活動において、自由な発想に留まらず「歌詞」「リズム」「音の高さ」「ピアノ」「強弱」「unis.div.」「テンポ」などに着目し、表現の仕方を工夫しようと考えたり、実際の表現につなげたりすることができる生徒には「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。	毎時間の活動において、自分の活動について振り返り、身に付いたり、理解が深まったりした事柄についてワークシートに記述する。また、次時や今後取り組む題材に対してどのような姿勢で臨むのかを具体的に書くことができる。また、他の生徒の良い発言や表現の仕方について相互評価することにより、自分の学習に対する姿勢を前向きに捉えることができる生徒を「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。
70	静岡県	夏の思い出	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	言葉のイメージや情景と、強弱の関わりについて理解し、グループに歌わせたい表現を歌唱と指揮で表すことができる。	ワークシートに、どのように指揮・歌唱で表現したいのか、特に強弱や歌声について思いや意図をもっていることがうかがえる記述がある。	振り返りシートの記述では、言葉と強弱の関わりだけでなく、作詞者の思いについてふれ、よりよい表現を目指そうとする姿勢がよみとれた。また、指揮・歌唱の様子を動画で撮影し、主体的に取り組む、友達の意見を取り入れ改善をしていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
71	滋賀県	歌詞を想像しながら言葉を大切に歌おう	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識:この曲に書かれている強弱記号とその意味を理解して見つけることができ、また、1番2番3番の違いを見つけていたので「十分満足できる」と判断し、「A」と評価した。  技能:歌詞を想像しながらその曲合った声色でおおむね歌えていたので、「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。	楽譜上に書かれていた要素を比較したり、歌詞と強弱記号を関連させながらその曲が生み出す雰囲気を感じながらおおむね表現することができていたので、「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。	毎時間の振り返りシートではできたところやよかったところだけでなく、次の改善点や工夫点、友達の良かった意見などが適切に書かれていた。授業観察の記録では、積極的に他者と話し合いながらどんな歌い方がいいのか試行錯誤している様子があった。以上のことから「十分満足できる」と判断し、「A」と評価した。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
72	山口県	曲が生まれた背景を知り、言葉の表現を工夫して歌おう	【5】(第2,3学年)「A表現」(1)歌唱及び(共通事項)(1)	<p>・音楽記号・用語について、既習のもの新たに学習するものをクラス全体で確認しながらワークシートに記入させた。用語、意味が記入できており、記号の確認テストで半数以上正解していた場合は、知識を身につけることができた状況と判断し、「B」と評価した。</p> <p>・楽譜に書き込まれている記号・用語などが、曲の雰囲気や表情とどのように関わっているかを考え、理解したことを実践として歌唱表現することができているかを評価した。ワークシート記述と実技テストでの歌唱をふまえ、おおむね満足できるものは「B」とした。</p> <p>・音程正しくメロディーを歌い、言葉のまとめりを生かして歌うための息の量を工夫しているかを評価した。実技テストでおおむね満足できるものは「B」とした。</p>	<p>・楽譜を見ながらCD演奏を鑑賞させ、曲の雰囲気や表情が記号や用語、歌詞とどのように結びついているのか、考えさせた。ワークシートにおおむね満足いく記載ができていれば「B」とした。</p> <p>例:「みずばしよの花がさいている」の「さいている」のPP部分について、「ごく弱く」という記号の意味を捉え、なぜ「ごく弱く」と作曲家が付けたのか自分なりに理由を考えてワークシートに記入し、作曲家の意図を想像することができていれば、おおむね満足できると判断し、「B」とした。</p> <p>・グループでの意見交換において、(1)の内容について再検討し、自分たちならその部分をどのように工夫して歌いたいか、グループとしての思いをワークシートに記入させた。ワークシートへの記載と行動観察で、おおむね満足できるものは「B」とした。</p>	<p>・自分が知覚・感受したことや他者の気付きなどを基に、どのように歌うかについて考えたり、他者とともに歌い試したりする様子进行评估し、おおむね満足できるものは「B」とした。</p> <p>・歌唱に主体的に取り組み、グループ活動で得た他者の視点も取り入れ、自身の歌唱表現を改善しようとしている生徒は「A」と評した。振り返りシートの記述を参考にした。</p> <p>・学習全体を振り返り、歌詞の内容、曲想、音楽の構造などにふれながら学んだことを記載し、内容についておおむね満足できるものは「B」とした。</p>
73	山口県	「花～情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。～」	【5】(第2,3学年)「A表現」(1)歌唱及び(共通事項)(1)	<p>知識:教科書への書き込みや、話し合い活動の様子、期末試験の記述から、曲の雰囲気や音楽の構造や歌詞の内容との関わりを捉え、おおむね妥当な解釈をしている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。</p> <p>技能:歌唱活動や実技テストの様子から、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、体の使い方などがおおむねできていると見取れる。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。</p>	<p>教科書への書き込みや話し合いの様子、期末試験の記述から、強弱や旋律の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌い表すかについて思いや意図をおおむねもっていることがうかがえる記述があり、実際の歌唱活動に生かされていた。また、歌唱活動の中で表現しようとしている様子が伺えた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。</p>	<p>振り返りシートに自発的に調べてみたいことを記述したり、活発な話し合い活動をしたりなど、「花」の強弱記号や旋律と歌詞の内容との関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・共同的に歌唱活動に取り組もうとしていた。また、思いを表現しようとする意見を出し、何度も歌い試す様子が見取れた。以上のことから十分満足できる状況と判断し「A」と評価した。</p>
74	静岡県	混声合唱の豊かな響きを創りあげよう。	【5】(第2,3学年)「A表現」(1)歌唱及び(共通事項)(1)	<p>知識→生徒のワークシートに、曲想と音楽の構造や歌詞の内容を理解し、表現したいイメージと関連づけておおむね妥当な内容を記述していた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。</p> <p>技能→既習事項を理解し、他者に伝わるよう表現できており、複数の観点における評価も高かった。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。</p>	<p>生徒のワークシートに、音楽の構造や歌詞の内容から生み出される曲の雰囲気を感じ、その曲にふさわしい歌唱表現について考え、どのように表現したいか思いや意図をおおむねもっていることがうかがえる内容が記述されていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。</p>	<p>授業観察の記録では、パート練習に意欲的に取り組み、練習をリードしていた。また、自身のイメージするものを表現しようと繰り返し練習を行っていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。</p>
75	静岡県	日本の歌に親しみ、ふさわしい音楽表現の工夫を考えよう。	【5】(第2,3学年)「A表現」(1)歌唱及び(共通事項)(1)	<p>創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能</p> <p>を身に付け、歌唱に生かしている。(例)曲想に合った発声で、言葉の区切りを意識して歌唱した場合、「おおむね満足できる」と判断して「B」評価とする。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気</p> <p>を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかに</p> <p>ついて思いや意図をもつ。(例)かいのしずくも 花とちる では、水がはじきだされる生き生きとした感じを出すために強弱をしっかりとつけ、言葉の区切りの最初の音をはっきりと歌おうなど工夫しようとしている場合、「十分満足できる」と判断して「A」評価とする。</p>	<p>グループでの活動の様子と、「どのような歌にするために、どのような工夫をしたのか」「グループ演奏を練習してみても学んだこと・感じたこと」をワークシートに書いた。思いや意図を表現につなげるために試行錯誤をしながら取り組んでいる様子、又は記述を見て「概ね満足できる」と判断して「B」評価とする。</p>
76	静岡県	曲想と音楽の構造や歌詞の内容および曲の背景との関わりを理解し、歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫しよう	【5】(第2,3学年)「A表現」(1)歌唱及び(共通事項)(1)	<p>知識→『夏の思い出』という楽曲がつけられた理由で、この曲がつけられたと、そのことが作詞にも作曲にも生かされていることが書かれている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。</p> <p>技能→創意を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方を理解し、実践している姿がある。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。</p>	<p>ワークシートに、歌詞と音楽を形づくっている要素が関連していることを捉え、曲にふさわしい歌唱表現の工夫について考え、どのように表現したいかという思いや意図をおおむねもっていることがうかがえる記述があり、歌唱に生かされていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。</p>	<p>3～4人の発表グループ毎、表現の工夫について根拠をもった意見交換を楽しみながら行っていた。また、ワークシートや楽譜への書き込みも多くされ、学級内での発表では、自分たちの工夫を意識して歌うことができた。では以上のことから主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている姿がみとめられ、「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。</p>

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
77	静岡県	パートの役割を理解して合唱しよう『翼をください』	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→楽譜を読み取り、各パートを歌唱することで、A・B・Cの旋律のテクスチュアの違いに気付いて言葉で表現できる状況を『B』と評価した。  技能→A・B・Cの曲想の違いを感じ取って歌唱できる状況を『B』と評価した。	合唱の模範唱を聴き、主旋律・オブリガート・ハーモニーを創る旋律の違いを知覚してワークシートにまとめ、テクスチュアの違いを理解したことが伺えた。またその違いを強弱や音色など音楽を形作る要素を意識して歌唱できていることから『B』と評価した。	ワークシートに記入したことから、合唱コンクールで歌唱する楽曲の自分のパートの役割が何かを考えて歌唱できるように、パート練習の中で仲間が発言する姿が見られた。また、自分たちの歌唱を録音して聴き、役割を確認して楽譜に書き込み、互いに気付いたことを話し合っていた。このことから「十分満足できる」と判断して「A」評価とした。
78	静岡県	歌詞や曲想からイメージを広げ、表現を工夫して歌おう。	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→歌詞の内容や音楽の構造から曲にふさわしい発声や表現を理解する活動において、表したいイメージとの関わりに触れながら、おおむね妥当な内容を書いている。以上のことから、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→曲のイメージを伝えるために必要な、発声、音程感覚、表現力が、みんなと一緒に表現できる生徒を「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	歌詞の内容や音楽の特徴や曲の構成から、それが生み出す特質や雰囲気を受容し、知覚と感受をつなげて、おおまかな思いや意図をもって内容の記述から「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	合唱のパート練習では、積極的に気づいたことや課題を発言して、貢献している生徒に○をつけ、全活動の8割以上に達した生徒を「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。
79	静岡県	「時代の流れと楽曲の背景をリンクさせ、作曲家の思いや意図を理解して表現しよう」	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→作曲者が日本に取り入れた音階やリズム、楽曲の形式に注目して学ぶことで、作品に対する知識、理解を深め、ピアノ伴奏の役割、二つの旋律の流れの特徴とそれぞれの役割についてまとめ、概ね妥当な内容を記述している生徒を「B」と評価した。  技能→歌の実技テストを実施。学んだ知識を元に、歌詞の内容にあったダイナミクス表現や伴奏のリズムに乗って、軽やかに春の情景を歌うことができていた生徒を「A」と評価した。	大分県のホームページの情報から、時系列で作曲家の生い立ちや時代背景、作品について学んだ知識をもとにして総合的に判断し、「花」「お正月」「慥」の3作品に込められた作曲家の工夫、想いを学習プリントにまとめ、概ね妥当な内容を記述している生徒を「B」と評価した。さらに楽譜と照らし合わせて、音楽を構成している様々な要素と結びつけてまとめることができている生徒を「A」と評価した。	滝廉太郎についてのレポート提出を自由課題とし、提出できた生徒は「B」と評価した。  クロームブックを使用して、様々な演奏者(団体)による「花」「慥」「お正月」等の唱歌について調べたり、鑑賞したりして、作品の解説を書いた。学習のまとめとして、西洋音楽黎明期の明るく意欲的な作品、子どものためのシンプルなメロディーの唱歌、志半ばで病に倒れることの悔しさが滲むピアノ曲等についての解説ができていた生徒を「A」と評価した。
80	宮城県	曲想を生かして表情豊かに歌おう	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→ワークシートの「曲想の変化と旋律の特徴」に、歌詞の内容や自分が感じ取った曲想と、調や音高、リズム、強弱の変化を結び付けて書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→「帰れソレントへ」の詩の内容や曲想を表現するために必要な呼吸法や発音、音色の変化の付け方を生かして、曲想の変化を歌声で表している。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  呼吸法を強弱やフェルマータの表現に生かしたり、発声や発音を曲想や歌詞の内容に合った表現に生かしたりして、他者に表情の豊かさが十分に伝わる歌唱であった場合は、「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	ワークシートの記述や、表現を練り上げる活動での発言から、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容も含めて知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌唱表現するかについて思いや意図をもってることがうかがえる。また、それらが演奏に生かされていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	ワークシートの「本時の振り返り」には、できたこと・分かったことだけでなく、次時で改善したいことや疑問点の質問が記述されていた。また、授業では、自分の感情を歌に乗せて表現することを楽しんでいる発言や姿が見られ、様々な歌い方を試したり、自分の思いや意図を表現しようと納得するまで練習を重ねたりする様子も見られた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
81	静岡県	歌詞が表す情景や心情を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫して歌おう。  (第2学年)教材「夏の思い出」	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	・知識→ワークシートの記載において、歌詞の内容と曲の背景を理解し、楽譜記載上の強弱記号を関連づけた記載がされていた。  以上のことから、「おおむね満足できる」を判断し「B」と評価した。  ・技能→歌う活動において、特に強弱をいかした表現で「夏の思い出」を歌うために必要な発声・言葉の発音・声量の変化、それらが表現できる身体の使い方などの技能を使って歌っていた様子が見られていた。  以上のことから、「おおむね満足できる」と判断し「B」と評価した。	生徒のワークシートに、歌詞の内容にふさわしい声の出し方や言葉を大切に、強弱記号も意識して声量を変化させる歌い方の記述があり、曲想を理解して表現を工夫していた内容が読み取れた。  以上のことから、「おおむね満足できる」と判断し「B」し評価した。	曲の背景を歌詞の内容を理解するために、模範演奏を鑑賞したり、クロームブックを活用したり、自主的に取り組んだワークシートの記述内容。楽譜に記載されている強弱記号の意味を理解し、歌詞の内容にふさわしい声の出し方や強弱が変化できる歌い方にする練習に取り組んでいた授業観察記録。振り返り、詩の内容と強弱記号の関係性と日本の素晴らしい風景が音楽となって歌い継がれていることが総括して記述されていた。  以上のことから、「おおむね満足できる」と判断し「B」と評価した。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
82	静岡県	「花」 情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう	【5】(第2,3学年)「A表現」(1) 歌唱及び(共通事項)(1)	知識→イメージ画や、曲の特徴を記述する場面で、曲の情景や曲の特徴(16分休符の効果等)をおおむね理解している。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→グループで曲にふさわしい表現や工夫を考え発表する場面で、実際に工夫を生かして歌うことができていた。以上のことから、「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	曲を聴き、特徴や印象を記述する場面で、自分が感じたイメージや風景と絡めながら、曲の特徴についておおむね記述ができていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	最後の学習の振り返りの場面で、曲を初めて聴いた時から、学習を通して曲の感じ方はどのように変化したか、又今回の活動を次にどう生かすか、主体的に考えて記述ができていた。以上のことから、「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。
83	宮城県	「思いを伝える表現を工夫しよう」	【5】(第2,3学年)「A表現」(1) 歌唱及び(共通事項)(1)	知識→「花」の曲想と音楽の要素の働きの関連についての説明で、複数の要素の働きをとらえ、それらを曲想に結び付ける記述がしっかりできていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。  技能→自身が考えた工夫を生かして、表現したいことを伝える技能を十分に身に付け、堂々と歌唱表現できた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。	ワークシートに、自身が考える「花」にふさわしい歌唱表現を追求するために、工夫したい音楽の要素とそれをどのように工夫するかについて具体的にまとめることができた。さらに、その工夫によってどのような表現をしたいのかを明確に記述できていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。	ワークシートへの記述や歌唱練習の際、「花」の味わいや曲想などを大事にしながら自分の考えを記入したり、その考えを他者と交流したり、率先して歌い試したりする姿が見られた。また、他者の意見を参考に、自身の考えを深めようとする姿も見られた。以上のことから「十分に満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
84	静岡県	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に合奏しよう(歌唱「花」)	【5】(第2,3学年)「A表現」(1) 歌唱及び(共通事項)(1)	知識→曲想や音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解できたか。楽譜への書き込みやワークシートから、おおむね妥当な内容が書かれていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→全体の響きや各声部の声を聴きながら、他者と合わせて歌うことができたか。少人数の合唱での表現や、個別の実技テストでの歌唱技能を合わせ、おおむね表現することができた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	感じ取った曲想や音楽の構造・歌詞の内容から、ふさわしい歌唱表現を考え、思いや意図をもつことができたか。ワークシートやグループ練習観察から、個々の考えや思いを書いたり発言したりすることがおおむねできた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	歌詞が表す情景や心情、曲の雰囲気を感じ取りながら、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱活動に取り組むことができたか。ワークシートや毎時間の振り返りから、感じ取ったことや表現したいことなどをおおむね書くことができた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。
85	神奈川県	歌詞が表す情景を思い浮かべながら、表現を工夫して合奏しよう	【5】(第2,3学年)「A表現」(1) 歌唱及び(共通事項)(1)	・全体の響きや他の声部の声を聴きながら、合わせて歌う技能を身に付けている。  ・創意工夫を生かし、曲想を感じ取りながら強弱などを意識して歌っている。  実技試験・ワークシート・定期テスト(筆記)	・歌詞が表す情景や心情を感じ取って、曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。  実技試験・ワークシート	曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりに関心をもち、創意工夫して歌う活動に主体的に取り組もうとしている。  振り返りシート
86	香川県	旋律の特徴と歌詞の内容との関係を感じ取って「花」を歌唱表現しよう	【5】(第2,3学年)「A表現」(1) 歌唱及び(共通事項)(1)	知識・・・1番から3番までの旋律・強弱・リズムの違いについて、歌詞の内容との関わりを踏まえて理解している。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能・・・演奏記号を生かして歌唱しているが、身体の使い方が十分に身につけていないので、以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	ワークシートに旋律や強弱、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「花」にふさわしい歌唱表現について思いや意図をもっている。この場合は「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	主体的に1番から3番の楽譜を見比べ、作曲者が違いをもたせた意図について他者の意見を取り入れながら、ワークシートに記述できていた。振り返りの記述では、作曲者が旋律・強弱・リズムを変化させていることの意味について触れ、他者の意見を取り入れながら自分の考えを深めていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
87		イメージした「花」の情景を歌唱表現しよう	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→曲想と強弱記号や休符との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて焦点を絞り、曲想と強弱記号や休符との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している記述が見られた。以上のことから「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。  上記の内容に加え、上記以外の音楽の構造(リズム、速度、声部などの関わり)や歌詞の内容との関わり方を理解している記述が見られた。以上のことから「十分に満足できる」と判断し、「A」と評価した。  技能→授業観察や実技試験等において、「花」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を十分に身につけていると判断し、「A」と評価した。	イメージした「花」の情景を歌唱表現するために、強弱の変化や休符を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、思いや意図をワークシートに記述できていた。また、授業中において、イメージした「花」の情景を歌唱表現するために、どのように歌いたいかについて、発言したり、歌い表そうとしたりしている。以上のことから「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。 上記の内容に加え、上記以外の音楽の構造(リズム、速度、声部などの関わり)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、思いや意図をワークシートに記述できていた。また、授業中において、イメージした「花」の情景を歌唱表現するために、どのように歌いたいかについて、発言したり、歌い表そうとしたりしている。以上のことから「十分に満足できる」と判断し、「A」と評価した。	毎時間の振り返りでは、前時の振り返りを踏まえて、本時の学習課題に対しての考えが十分に述べられていた。特に、他者の意見を踏まえた上で自分の思いや意図を述べられていた。また、授業中において、歌詞の内容から「花」が表す情景を真剣に考え、曲想と音楽の構造との関わり方を知覚・感受したことを基に、どのように歌えばよりふさわしい音楽表現になるのか考え、他者に伝え、学び深めようとする姿が見られた。以上のことから「十分に満足できる」と判断し、「A」と評価した。
88	宮城県	「日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう。」	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	「おおむね満足できる状況」(B)と判断するポイント  (知)・歌詞が表す情景や心情、曲想と音楽を形作っている要素などを捉え、それぞれの関係性について概ね妥当な内容をワークシートに書いている。(ワークシート)  ・グループの話し合いで発言したり、歌唱表現で表したりしている。(観察)  (技)・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能について学習した内容がおおむね歌唱表現に表れている。(演奏)	「おおむね満足できる状況」(B)と判断するポイント  ・旋律、強弱を知覚・感受したことを踏まえて、「花」の主に3番をどのように歌うかについての思いや意図として、おおむね妥当な内容をワークシートに書いている。(ワークシート)  ・歌唱表現についてどのように工夫して歌いたいかについて発言したり、歌い表そうとしたりしている。(観察)	「おおむね満足できる状況」(B)と判断するポイント  ・ワークシートに学習内容を踏まえて自らの学習を振り返っていることがおおむねわかる記述が見られる。(ワークシート)  ・題材を通して、学習目標に向けて粘り強く取り組み、他者の気付き等を基に試行錯誤したり、自らの学習を調整したりしながら、歌唱表現する姿がおおむね把握できる。(観察)
89	静岡県	「拍ののって、響きのある声で合唱しよう」	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)	知識→音楽の表現記号の正しい意味を理解し、歌詞の表すイメージや合唱の種類を関連づけながら、おおむね妥当な内容を書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→自分のパートを正しい音程、音量で歌い、曲の表現をおおむね表現することができている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートへの記述から、歌詞の内容や音楽の表現記号の意味を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽を表現したいという思いや意図をおおむねもっていることがうかがえる記述があり、合唱練習に生かされていた。以上のことから「おおむね満足できる」と判断し「B」と評価した。	生徒の振り返りシートの記述では、良かった点やできなかった点だけでなく、改善点や次への見通しなどが適切に書かれていた。授業観察の記録では、高音域の発声方法について、自分の課題を知り、主体的に取り組み、他者の意見を取り入れ改善を重ねていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。
90	三重県	「自分たちなりのアレンジを工夫しよう」	【5】〔第2,3学年〕「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1)  【6】〔第2,3学年〕「A表現」(2)器楽及び〔共通事項〕(1)  【7】〔第2,3学年〕「A表現」(3)創作及び〔共通事項〕(1)	知識→生徒のワークシートの内容で、「アレンジの工夫」をするときに「強弱・速度・ハーモニー・形式など」の要素を工夫することが記述されており、おおむね妥当な内容を書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→自分たちなりにイメージに合った工夫をして演奏しようとしていたことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートの内容で、自分たちでアレンジするときに、強弱や速度について意識し、それらの変化でどのような雰囲気になるか考え、どのようなアレンジをするか思いや意図をもっている記述があった。そしてそれを演奏に表現しようとしていたので、「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	生徒の振り返りシートの記述では、良かった点やできなかった点だけでなく、改善点や次への見通しなどが適切に書かれていた。授業観察の記録では、アレンジの工夫について自分の意見を出し、曲のアレンジに主体的に取り組み、他者の意見も取り入れながらアンサンブルをよりよいものにしていった。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
91		楽器の音色と奏法との関わりを理解して、アルトリコーダーの表現を工夫しよう	【6】〔第2,3学年〕「A表現」(2) 器楽及び〔共通事項〕(1)	定期テストで「音の4要素とは?」「サミングとは?」「アルトリコーダーの基本的運指」を出題し、授業での知識が定着しているか評価する。また、実技テストで、正しいタンギングができ、強弱(音の4要素の一つ)の変化を付けながら、おおむね楽譜通りに演奏できていれば、「B」と評価する。	楽譜を見て、自分が一番気持ちを入れたいところがどこかを考えて、その部分をメソフォルテで演奏できるように(それ以外はメゾピアノ)練習する。実技テストで自分が意図したとおりに強弱をつけたことが伝わり、おおむね楽譜通りに演奏できていれば、「B」と評価する。	曲の個人練習の時間に全員の生徒を見て回り、上手くできていないところの改善点や、よりレベルの高い演奏をするためのアドバイス(ヴィブラートの技能など)をする。どのようなアドバイスをしたか簡単なメモを残しておく。次時の授業や実技テストで、それらを演奏にどこまで反映できているか聞き取る。アドバイスの8割程度を演奏に反映したり、最低一つでいいので、アドバイスされたこと以外にも、自分の力で改善点を見つけたらして、おおむね楽譜通りに演奏できていれば、「B」と評価する。
92	東京都	楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	【6】〔第2,3学年〕「A表現」(2) 器楽及び〔共通事項〕(1)	知識→「『つくった音楽』との関連についての説明」で、音素材の特徴と音の重なり方について、表したいイメージとの関わりに触れながら、おおむね妥当な内容を書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などを具体的にワークシートに書き、器楽で表していることが行動観察によって確認できた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をおおむねもっていることがうかがえる記述があり、器楽表現に生かされていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した	生徒の毎時間の振り返りシートの記述に、学習で理解したことと出来るようになったことに加え、次への見通しが適切に書かれていた。また、楽器の奏法によって生み出される雰囲気や表情などの変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に取り組もうとしていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
93	静岡県	「リコーダーの豊かな表現」	【6】〔第2,3学年〕「A表現」(2) 器楽及び〔共通事項〕(1)	知識→筆記試験において、他の歌唱単元などで学習した、演奏に必要な音楽用語を正答できている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→実技試験において、基礎的な奏法と正しい運指で演奏できている。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	実技試験で、楽譜に記された音楽記号を基に、思いや意図を演奏で表現をしている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	授業観察の記録では、自分なりの演奏上の工夫を楽譜に記し、主体的に練習に取り組んでいた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
94	静岡県	名曲のテーマをアルトリコーダーで吹いてみよう	【6】〔第2,3学年〕「A表現」(2) 器楽及び〔共通事項〕(1)	知識→原曲の構造(テクスチャや構成)や曲想について聴き取り、曲の特徴についてまとめることができていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→原曲のイメージを表現するために必要なリコーダーの基礎的な奏法を身に付け、アーティキュレーションを正しく使い分けて演奏した。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	生徒のワークシートに、リコーダーの音色、アーティキュレーション、音や旋律の組み合わせを知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じている様子がうかがえる記述があり、リコーダーの音色の特徴や基礎的な奏法を生かした表現の工夫をしながら演奏している様子が聴きとれた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	生徒の毎時間の振り返りシートの記述では、良かった点やできなかった点だけでなく、改善点や次への見通しなどが適切に書かれていた。授業観察の記録では、古典の原曲をリコーダーで表現するために必要な奏法を身に付けようとしていた様子があつた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
95	静岡県	アルトリコーダーに親しもう? 「糸」を演奏しよう。」	【6】〔第2,3学年〕「A表現」(2) 器楽及び〔共通事項〕(1)	知識→「糸」を演奏するために必要な運指を正しく理解していたり、曲にふさわしい奏法を正しく選択できている場合、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→多少のつまずきがあっても正しい運指を使い、曲にふさわしい奏法を使って音色や曲の雰囲気を出そうとする演奏を行っている場合、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに「糸」の曲の良さや特徴を捉えた上で、曲について解釈し、「糸」にふさわしい表現について自分の思いや意図を持っていることが記述されていた場合、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	グループワークのクラスルームに提出された演奏動画記録から、練習を重ねた結果演奏の上達が見られた場合や、授業観察を通して、粘り強く練習する姿が見られたり、教師の助言を取り入れたりする場面等があった場合、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。
96	静岡県	音の重なりや旋律の流れを掴み、工夫してリコーダーアンサンブルをしよう	【6】〔第2,3学年〕「A表現」(2) 器楽及び〔共通事項〕(1)	知識→楽譜へ工夫点などを書き込み際、どのような点に注目して練習すべきかを、音素材の特徴(テクスチャなど)と音の重なり方(各旋律の特徴)について関わりをもち、「工夫したい練習ポイント」おおむね妥当な内容を書くことができていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→楽譜への工夫点の記述内容と、実際に行った練習内容(ICTを活用し記録)が、おおむね整合しており、課題や条件に合った演奏ができた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシート(振り返りも含む)に、音色や音の重なり方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、実際にどのような演奏をすれば良いか練習内容を自ら思考・判断し、実際の演奏につなげようと思いや意図をもっていることがうかがえる記述があり、アンサンブルの演奏に生かすことができていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	授業観察の記録やICTを活用した録画等の記録では、課題であるブレスのタイミングをそろえたり音の長さを確認したりしながら練習を行うことができた。意図的に練習を繰り返す中で、自分の演奏の問題点に気づき、具体的な改善方法を考え、粘り強く何度も練習に励むことができた。さらに生徒の振り返りシートの記述では、良かった点や行ったことの記述のみではなく、授業内にやりきることができなかった改善点と次の授業で練習したい内容などを適切に記述することができた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。



番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
97	山口県	曲へのイメージとリコーダー奏法を結び付けよう!	【6】〔第2,3学年〕「A表現」(2) 器楽及び〔共通事項〕(1)	運指、ポルタート奏法、スタッカート奏法など、授業で学習したことを活かした演奏表現ができているかを評価し、実技テストでおおむね満足できるものは「B」とした。自分の思いをしっかりともち、演奏表現できた生徒は「A」とした。	自身が抱いた曲へのイメージが、学習したどの様な奏法を用いたら上手く表現できそうかを考え、ワークシートの楽譜に各自が演奏にふさわしいと思う奏法と、なぜその奏法を選んで演奏しようとしたか理由を記載することができているかを評価した。ワークシート記述でおおむね満足できるものは「B」とした	
98	宮城県	曲の構成を理解して、打楽器アンサンブルの表現を工夫しよう	【6】〔第2,3学年〕「A表現」(2) 器楽及び〔共通事項〕(1)	知識→ワークシートに「音の重なり方」と「曲の構成」との関わりに触れながら、おおむね妥当な内容を書き、自分のパートの役割にふさわしい楽器を選択できる。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→「音の重なり方」や「曲の構成」と「表したいイメージ」とがおおむね整合しており、自分のパートをほぼ演奏できる。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、音色や音の重なり方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をおおむねもっていることがうかがえる記述があり、グループのアンサンブルの演奏に生かされていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」とした。	生徒の毎時間の振り返りシートの記述では、良かったやできなかっただけでなく、改善点や次への見直しなどが適切に書かれていた。授業の観察から、楽しみながら協力して活動し、互いの役割がどのように関わっているのかが気付くことができた。主体的に取り組む、他者と意見を交換しながら、よりふさわしい器楽表現を目指していた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
99	奈良県	「音色や音の重なりを考え、どのように合わせるか工夫をして、班オリジナルのリズムアンサンブルを楽しもう。」	【6】〔第2,3学年〕「A表現」(2) 器楽及び〔共通事項〕(1) 【7】〔第2,3学年〕「A表現」(3) 創作及び〔共通事項〕(1)	知識：音楽の特徴を表現するために使用する楽器を、おおむねイメージ通りに選ぶことができる。音符や休符の音価を理解している。→おおむね満足できる「B」  技能：班で話し合ったイメージをどのように合わせれば表現できるか、どのような奏法で表現できるかがほぼ整合している。→おおむね満足できる「B」  (すべてワークシートの記述)	それぞれが身につけたリズムを班で合わせる際の順番や使用する楽器などについて、自分なりのイメージや思いをもっている、と分かる記述があった。また、それを表現するための手立てとして、強弱や表現方法について試行錯誤しようとする記述があり、リズムリズムアンサンブルづくりに生かされていた。→おおむね満足できる「B」	授業観察：班での話し合いでは、友だちと意見を共有し、積極的に参加していた。班で創ろうとしている音楽のイメージを理解し、それに合う演奏をしようとしていた。  今日の振り返りシート：今日できたこと、話し合ったことが適切にかけられていた。  →おおむね満足できる「B」  (自ら動く・友達の意見を聞いて改善策をみつけだす、ことができれば「A」)
100	東京都	「構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう」	【7】〔第2,3学年〕「A表現」(3) 創作及び〔共通事項〕(1)	知識→個人で創ったリズムのもとやグループで創ったリズム等の記譜を正しく書いている。グループで共有したイメージと関わらせてアンサンブル作品を創ることができている。  技能→グループで創ったアンサンブル作品を、拍子に合わせて演奏することができる。自分の受け持ったパート(リズム)を正確に演奏することができる。	自分たちの作品の中でどのような音楽を作りたいのか、その思いや意図を記述し、そのためにどのような工夫を施したのかワークシートにまとめることができている。	振り返りシートの記述に良かった点のみでなく、改善点や次への見直しなどが適切に書かれていた。作品発表の際には自己評価、他者評価に取り組む、なぜそう感じたのか、理由と共にまとめることができている。
101	静岡県	情景をリズムアンサンブルで表現するために演奏表現を工夫しよう	【7】〔第2,3学年〕「A表現」(3) 創作及び〔共通事項〕(1)	「情景を表現するための創意工夫」を評価する場面において、表現したい情景との関わりに触れながら、ふさわしい音楽記号を選択し、演奏表現することができている。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	「情景を表現するための創意工夫」を評価する場面において、表現したい情景との関わりに触れながら、ふさわしい音楽記号を選択し、ワークシートにその理由を書いている。また、それらを正しく演奏表現することもできている。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。	生徒の毎時間の振り返りシートの記述において、改善点や次への見直しなどが適切に書かれていた。授業の取り組みでは、情景を演奏表現するために創意工夫し、主体的に取り組む、他者の意見を取り入れたりしながら、改善を重ねていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
102	東京都	リズムの重なり方を工夫して2パートのリズム譜を創り、グループで演奏しよう。	【7】〔第2,3学年〕「A表現」(3) 創作及び〔共通事項〕(1)	知識：表したいイメージにふさわしいリズム譜がかけたらB  技能：創ったリズム譜を正確にアンサンブルできていたらB	もったイメージの雰囲気やふさわしい表現を工夫して楽譜に書かれていたらB	他グループの観察や自分たちの発表について感想と課題が書けていたらB
103	静岡県	音の重なり方や構成を工夫して、リズムアンサンブルをつくろう	【7】〔第2,3学年〕「A表現」(3) 創作及び〔共通事項〕(1)	音の重なり方や反復・変化・対照などの構成上の特徴について理解するとともに、創意工夫を生かした表現で音楽を作るために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている  →ワークシートへの記述内容として、表したいイメージとの関わりに触れながら、おおむね課題や条件に合ったリズムを選択している状態をBと判断した。	リズム・テクスチャ・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。 →ワークシートへの記述内容が、他の声部との関わりをふまえて、音の重なりや構成をおおむね工夫してアンサンブルを創っている状態をBと判断した	反復・変化・対照などの構成や全体のまとめ、音の重なり方に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に創作の活動に取り組む。  →振り返りカードに、活動の中で工夫した点や良かった点を記入し、次回への反省をふまえることができた。授業内の観察で、他者と協力し試行錯誤しながら創作活動に取り組んでいる状態をBと判断した。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
104	静岡県	「日本に古くから伝わる合奏を聴こう。」	【7】(第2,3学年)「A表現」(3) 創作及び(共通事項)(1)	それぞれの楽器の音色、リズム等の音楽の特徴について書いている。	生徒のワークシートに、雅楽について自分で感じ取ったことを、音楽的要素とその理由をセットで書いている。それらを踏まえて、雅楽のよさや魅力について自分の考えを書くことができている。	毎時間の振り返りシートに感想だけではなく、分かったことや考えたこと、改善していきたいことなどを詳しく書いている。その思いと、授業観察や技能の様子で、十分に満足できていればAとした。
105	静岡県	言葉や音階の特徴を生かして、表現を工夫しよう	【7】(第2,3学年)「A表現」(3) 創作及び(共通事項)(1)	知識→「言葉の特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること」を目標とし、言葉の抑揚や音の高さの上下をつかんだ記述や発言があったため、おおむね満足できる状況と判断、「B」と評価した。  技能→「創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作すること」を目標とし、5、7、5という言葉の制限内で言葉の抑揚や旋律の特徴を関連させながら表現していたため、おおむね満足できる状況と判断し、「B」と評価した。	言葉の抑揚を線で表したり、階名や音符を記入するワークシートへの記述や発言から、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えることができた。また、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている記述や演奏表現が見られたため、おおむね満足できる状況と判断し、「B」と評価した。	自分がつくった歌詞に合わせて、音を出したり生徒同士で対話をしたりしながら、表したいイメージと関わらせながら、言葉の特徴及び音のつながり方に関心をもっていた。音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている姿が見られたため、おおむね満足できる状況と判断し、「B」と評価した。
106	山口県	創作「動機を生かして、旋律づくりしよう」	【7】(第2,3学年)「A表現」(3) 創作及び(共通事項)(1)	知識→音符の位置や音符や休符の長さを理解して、五線譜に書き表すことができる。  ワークシートの記述から、以上のことが概ねできていれば「B」評価とした。  技能→自分で創った旋律を、正確に演奏することができる。  授業時の活動の様子等の見とりや発言内容から、以上のことが概ねできていれば「B」評価とした。	・自分で創った旋律の曲想を言葉で表し、他者に伝えることができる。  ・音と音のつながりを考えて音を調整したり、動機のリズムなどを様々に変化させたりしてよりよい作品を創ることができる。  授業時の活動の様子等の見とりやワークシートの記述から、以上のことが概ねできていれば「B」評価とした。	毎時間の振り返りシートやワークシートへの記述で、良かった点や課題点を書き、次時の自己の目標を定めている。授業時の活動の様子等の見とりでは、主体的に活動に取り組み、演奏できるように努力を重ねている。以上のことが概ねできていれば「B」評価とした。
107	静岡県	「日本の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう(選んだ百人一首を箏曲で表そう)」	【7】(第2,3学年)「A表現」(3) 創作及び(共通事項)(1)	知識→使用する音階やイメージを生かすために必要な奏法(押し手・引き色・合わせ爪・トレモロ・グリッサンド等)を知識として得ているので、「おおむね満足できる。」状況と判断し、Bとした。  技能→課題や条件に合った音の選択をして創作することができているので、「おおむね満足できる。」状況と判断し、Bとした。	リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特徴や雰囲気を感じながら創作している。また、ワークシートにどのように音楽をつくるかについての思いや意図を記述しており、それが作品に生かされているので、「おおむね満足できる。」状況と判断し、Bとした。	日本の音階を使った旋律づくりに関心をもち、試行錯誤しながら主体的に取り組んでいる。ペアの友人との意見交換では、友人の演奏を課題意識をもって聴き、アドバイスをしたり、自分の創作の参考になることは何かをワークシートに書いたりしている。以上のことから、「おおむね満足できる。」状況と判断し、Bとした。
108	北海道	「さくらさくら」の主題を生かして副次的旋律をつくろう	【7】(第2,3学年)「A表現」(3) 創作及び(共通事項)(1)	知識⇒ワークシートや作品解説文で、使用した箏の奏法や音の重なり方について理解し、適切な言葉で表現し、表したいイメージとの関わりに触れながら記述できているものをBと評価した。  技能⇒作品解説文と作品の記譜とが一致しており、課題や条件に合った奏法や重なり方の選択ができているものをBと評価した。	ワークシートや作品解説文で、自分の思いや意図を明確にし「使用した箏の奏法」とねらった効果、「音の重なり方」とねらった効果についてを照らし合わせながら作品を構成しようとしている記述をBと評価した。	毎時間末に行っている振り返りシートの記述において、与えられた課題に沿って試行錯誤し、創作のアイデアや改善点について記述していると読み取れるものをBと評価した。また、仲間の作品のよい点や取り入れたい点について記述し、自分の作品を客観的に評価し、工夫や改善を加えようとしているものはAと評価した。
109	長野県	「構成を工夫して、ボイスアンサンブルでサラダをつくろう」	【7】(第2,3学年)「A表現」(3) 創作及び(共通事項)(1)	知識→音の重なり方や反復・変化・対照などによって生み出される特質や雰囲気について、『表したいイメージ』との関わりに触れながら、ワークシートにおおむね妥当な内容を書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。  技能→作品とワークシートに書かれた「『表したいイメージ』と『つくった音楽』との関連についての説明」とがおおむね整合しており、課題や条件に合った音の選択や組み合わせができています。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、リズム・テクスチャ・構成についてを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をおおむねもっていることが伺える記述があり、作品づくりに生かされていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	生徒の毎時間のワークシートの記述に、うまくいった点やうまくいかなかった点に加え、さらに改善したい点がかかれていた。授業観察の記録では、リズムを重なる順番を変えながらいくつかのパターンを試すなど主体的に取り組む、友人の意見を取り入れながら工夫していた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
110	静岡県	ガムランの鑑賞を起点とした創作—ポウルで奏でるオリジナルガムラン—	【7】(第2,3学年)「A表現」(3)創作及び(共通事項)(1) 【8】(第2,3学年)「B鑑賞」(1)鑑賞及び(共通事項)(1)	知識→ワークシートや「追求の記録」に、それぞれの属の音楽構造上の役割を理解している記述が見られる「B」 技能→ガムランのような音楽を創作していく活動を通して、拍節周期をふまえて音の重なり方を工夫したり、それぞれの属の音色の特徴をふまえてキッチンポウルの奏で方を選択したりしている「B」	ワークシートや「追求の記録」、授業中の発言、創作表現などで、音色や音の重なり方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように各自で設定した神々や精霊にお供えするガムランのような音楽をつくるかについて思いや意図をおおむねもっていることが伺え、創作表現にいかされている「B」	題材の振り返りで、音や音楽による表現、音楽文化に新たな価値を見出し、概念的な理解を深めている具体的な記述や心からの感動を伴った感想が見られる「A」  例)痛快さや不気味さを感じさせるバリ島のガムランは、音色や音の重なり方などにバリ島の人々独自の価値観や精神が宿っている貴重な音楽だ。(中略)身の回りにある音と人々の生活に根づく思いや願いが結びついていく中で、音楽は生まれていくのだと思った。(中略)様々な音楽について優劣をつけず、それぞれの音楽性を尊重していくことが大切だ」など、という本質について書かれていた
111	滋賀県	ブルーノートスケールを生かした旋律をつくろう	【7】(第2,3学年)「A表現」(3)創作及び(共通事項)(1) 【8】(第2,3学年)「B鑑賞」(1)鑑賞及び(共通事項)(1)	・ジャズの音楽的特徴を理解し、旋律創作に活かすことができる。→B ・五線紙に正しく記譜することができる。(基本的な音符・休符の記譜→B、表現を表す記号などを含めての記譜→A)	・自らが調べ、鑑賞したジャズの音楽について、特徴や良さをまとめることができている。(裏拍を感じるリズムについての記述あり→B) ・コード進行に合わせた音の選択ができている。→B ・ジャズの音楽的な特徴の1つである、裏拍を感じられるリズムを使用することができる。→B ・表現したいイメージをもって旋律を創作できている。→B	・ジャズの音楽や音楽的な特徴に興味を持ち、主体的に創作・鑑賞の活動に取り組むことができた。→B ・表現したいイメージを持ち、それに近づけるよう、推敲しながら創作活動に取り組むことができた。→B ・周りの友人や教師のアドバイスをきき、よりよい作品にするために考えを広げたり、深めることができた。→B
112	埼玉県	音楽の時代背景となる文化や歴史との関りに関心を持ち、鑑賞しよう。	【8】(第2,3学年)「B鑑賞」(1)鑑賞及び(共通事項)(1)	・オーケストラに使われるそれぞれの楽器の音色や特徴を理解しながら鑑賞している。 ・当時のチェコの時代背景と、作曲者の思いを自分なりに感じ取って鑑賞していたと判断できる発言や記述があったので、おおむね楽曲について理解しているということで、B評価	・オーケストラに使われるそれぞれの楽器の音色や特徴を理解して、旋律やリズム、音の重なりなど知覚し、感受したことをワークシートに具体的に記入していたのでA評価とした。	・集中して鑑賞している態度、および楽曲から受けた感銘を自分の言葉で表すことができている。ので、おおむね楽曲に興味関心があり、主体的に鑑賞できたと判断し、B評価とした。
113	東京都	「音楽の特徴やその曲の背景を理解して、魅力を味わおう」	【8】(第2,3学年)「B鑑賞」(1)鑑賞及び(共通事項)(1)	<知識>「曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解している」について、?授業内の発言(発問に対する答え)ワークシートへの記述内容によってそれぞれ7段階に分けて評価した。作曲された背景や楽曲の特徴(楽器・リズム・曲想の違い)はよく理解できていた一方、曲想と音楽の構造との関わりについての理解が難しい様子が見受けられたため、「6」=A(85.7%)と評価した。  <技能>なし	「音楽を形づくっている要素を知覚し、それらが生み出す雰囲気を感受しているか」「知覚・感受したこととの関わりについて考え、よさや美しさを理解し根拠をもって曲を評価しているか」については、ワークシートへの記述内容から評価した。個人プレゼンテーションによってそれぞれ7段階に分けて評価した。おおむね妥当な考えや表現が整理して書いてあった場合「6」、音楽を形づくっている要素を関わらせて自分なりに曲を批評できていた場合「7」、よって「13」=A(92.8%)と評価した。	「関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしているか」については、ワークシートの自己評価内容や個人プレゼンテーションの様子、授業観察によって、それぞれ5段階に分けて評価した。理解度と共に積極的に曲について知ろうとしたり、他の意見を参考にしながら曲の良さをどう表現するか考えたりと、向上心が見られる場面が多くあり、「4」「5」「5」=「14」=A(93.3%)と評価した。
114	東京都	鑑賞「ブルタバ(モルダウ)」	【8】(第2,3学年)「B鑑賞」(1)鑑賞及び(共通事項)(1)	知識→音楽材の特徴と音の重なり方について、標題とのかかわりに触れながら、おおむね妥当な内容をワークシートに書いている。このことから「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。	曲全体を貫く、川の流れを中心とした情景を感じ取りながら、交響詩「ブルタバ」の曲の流れを正確に把握している。作曲者がどのような意図をもってそのような曲の展開にしたのか考え、自分の意見をワークシートに記入できていることから、「B」と評価した。	曲が作られた時代背景や、作曲者の名前、国名、この曲の演奏で使われる楽器の名前等を自ら調べ、ワークシートにまとめている。その内容が正しいことから「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。また、耳を澄まして曲をきいている態度が認められることから「B」と評価した。
115	静岡県	旋律が重なり合っていく面白さを味わおう～フーガ短調～	【8】(第2,3学年)「B鑑賞」(1)鑑賞及び(共通事項)(1)	ワークシートへの記述内容で、曲想と音楽の構造(フーガの形式)との関わりについて理解し、その学習した内容について触れながら、記述されている場合、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、音色や旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができていた。また、批評文から作曲者の曲づくりについて、演奏に対する評価とその根拠について考えるとともに、音楽のよさや美しさを味わって聴いていることが伺える記述があった場合、「満足できる」状況と判断し、「A」をつけた。	生徒の振り返りシートでは、パイプオルガンの音色に親しみ、その構造や歴史について知り、オルガンに興味・関心を示す記述が見られた。また、フーガの形式に関心を持ち、音楽を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組んでいた場合、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」とつけた。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
116	静岡県	旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう。	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識・生徒のワークシートへの記述に、音色や音の重なり方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについての内容が見られた。また、曲想、旋律、テクスチャから旋律の重なり方について気付き、繰り返されながら発展していく事について、自分の考えや思いや意図を自分の言葉で書いてあることから「満足できる」と判断し「A」評価とした。	楽曲のよさや美しさを味わいながら曲を再度聴き、初めて聴いたときと比べ、感じ取ったことや自分の考えがどのように変化し、深められたかを振り返り、自分なりに音楽のよさや美しさを批評しながら味わって聴いている。	生徒の毎時間の振り返りシートの記述に、理解した点や分からなかった点だけでなく、次への見通しなどが適切に書かれていた。ワークシートへの記述に積極的に音楽を聴く姿勢が見え、聴く視点を明確にしていた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
117	神奈川県	曲の構成に注目しながら曲想の変化を味わおう。	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	オーケストラの楽器名とそれぞれの楽器の音色を理解することができた。  オーケストラの楽器名と音色の特徴を理解することができた。→「B」とした。	《交響曲第5番ハ短調 第1楽章》の音色、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができた。 動機やソナタ形式などの構成を知覚し、曲の良さを自分なりに批評することができた→「B」とした。  上記に加えて、知識として得たオーケストラの楽器とその音色の特徴と楽曲の良さを批評文に表すことができていたら「A」とした。	オーケストラの楽器やオーケストラの中で演奏される楽曲に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むことができた。  ワークシートへの記述内容に、オーケストラで演奏される楽曲を聴いて、よさや美しさについて自分の言葉で書けていたら「B」とした。
118	東京都	楽器の音色、テクスチャや強弱などから音楽の特徴を聴き取る。	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識:楽曲の構成や曲がつくられた背景などを筆記試験で問い、妥当な内容が書かれていた。  技能:この曲を構成しているポレロのリズムを概ね表現することが出来た。	生徒のワークシートに楽器の音色の特徴、ポレロの特徴的なリズムについて記させ、妥当な内容が書かれていた。	振り返りシートの記述で主体的に取り組んだ内容が書かれていた。ワークシートへの記述で、積極的に多くの内容が書かれていた。
119	埼玉県	連作交響詩「我が祖国」からブルタバ  ・曲想と音楽の特徴との関わりに注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴こう。  ・作曲者が記した標題や解説、当時の時代背景から作品に込められた思いを感じ取って聴こう。	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識→生徒のワークシートへの記述や発言の中で、全体の曲想や構造について、(主題が3回出てくるが1・2回目が短調、3回目が長調に転調するなども含めて)理解している。  音楽の特徴や背景となる文化や歴史、ポルカ等民族的な要素が取り入れられていることに気づき、その特徴に触れる記述がされているので「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートへの記述内容に、標題ごとの音楽を形作っている要素(楽器の音色、調性や拍子、旋律、リズム、構成、効果的に使われている楽器など)を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じ取り、曲や演奏に対する評価とその根拠についての記載、作曲家が曲に込めた思いを感じ取っていることが伺えたので、「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。	・授業観察の記録内容で、主体的に聴くことができていたこと。 ・「気づいたことや感じ取ったことを発表し合うグループ学習」では、主体的に取り組む、他者の考えや感じ取ったことにも耳を傾けることができること。 ・チェコの文化や歴史的背景に関心を持ち、作曲者の思いを汲み取って主体的、協働的に学習に取り組もうとしていること。 これらが「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。
120	静岡県	作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。鑑賞「ブルタバ(モルダウ)」	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している記述が見られたため、Bと評価した。	音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、楽曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽のよさや美しさについて自分の言葉で表現している記述が見られたため、Bと評価した。	曲想と?楽の構造との関わり、?楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている様子が見られ、さらに学びの振り返りにもそのような内容が書かれていたためBと評価した。
121	宮城県	自分のイメージに近づけた表現を創意工夫する	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識→生徒のワークシート(鑑賞した楽曲からイメージしたものを文章等でまとめたシート)について、既習知識を活用しながらおおむね妥当な内容で書き表されているものを「おおむね満足できる」と判断し、評価「B」とした。  技能→生徒のワークシートについて、その楽曲を形成する要素や特徴をおおむねとらえて書き表しているものを「おおむね満足できる」と判断し、評価「B」とした。	生徒のワークシートや発表内容について、その楽曲で表される音色やリズム、速度、強弱など音楽を形成する諸要素を知覚し、その特質や雰囲気を感じながら、この音楽を聴くとどんなイメージをもったのか、自分なりの言葉で鑑賞したことをおおむね捉えられる記述表現または発表であるものを「おおむね満足できる」と判断し、評価「B」とした。	授業での観察記録から、楽曲からイメージしたものをワークシートにまとめるため、生徒が自ら何度もその楽曲を聴こうとしたり、その楽曲の時代背景や音楽用語などについて自主的に調べて学習するといった態度がみられたものを「満足できる」と判断し、評価「A」とした。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
122	山口県	曲のよさをプレゼンテーションしよう。	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	曲を聴いて、ワークシートに音楽を形づくっている要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式・構成など)と曲想との関わりを記入し、おおむね理解している場合、「B」と評価した。	生徒のワークシートから、活動を通してその曲について批評する記述があり、他者のプレゼンテーションを通して、自分とは異なる捉え方や感じ方を知ることがおおむねできていた場合、「B」と評価した。	毎時の振り返りカードに、本時の目標についての記述や、今日の授業で何を学んだのか、良かった点やできなかった点を踏まえて次回の課題を考え、次回に生かそうとしている、ということが判断できれば「A」と評価した。
123	鳥取県	日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識→3つの地域の「麒麟獅子舞」の囃子の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気の違いを感じることや気付いた音楽の多様性について、おおむね妥当な内容を書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	「麒麟獅子舞」の囃子について、聴き取ったり感じ取ったりしたことや意見交換する場面での、どのような特徴があるかについて発言したり、友達の意見を聞いて自分の考えを深めようとしたりしている。また、生徒がワークシートに、「麒麟獅子舞」の囃子の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことを関わらせて、「麒麟獅子舞」のよさや美しさについて自分の考えを書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	「麒麟獅子舞」の音楽の多様性を捉える活動に意欲的に取り組むことで、音楽文化の豊かさに関心を持ち、郷土の伝統音楽や音楽文化に親しもうとしている様子が、本題材の学習を通じて見て取れた。また、生徒が毎時間の振り返りシートに、授業での学習内容を踏まえて自分が学んだことや、次への見通しなどを適切に書いている。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。
124	宮城県	曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	ワークシートに、ソナタ形式の仕組みを理解し、その曲想や気付いた音楽の特徴について関連付けて書かれていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	ワークシートに、楽曲の音色、リズム、旋律等を知覚し、これらが生み出す音楽の特徴や雰囲気を感じ取り、その関連性についての考えが書かれていた。また曲や演奏に対する評価とその根拠についても具体的な記述があった。以上のことから「十分満足できる状況」と判断し、「A」と評価した。	曲の構成と曲想の変化に関心を持っていた。ワークシートへの記述内容や取組状況の観察においては、楽しみながら主体的・協働的に取り組もうとしている姿を見取ることができた。以上のことから「十分満足できる状況」と判断し、「A」と評価した。
125	山口県	作曲者の思いを感じ、情景を想像しながら音楽を味わおう	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。以上のことから、「おおむね理解できる」状況と判断し「B」と判断した。	生徒のワークシート(iPad)に、音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じるとともに、音楽のよさや美しさを味わって聴いていることが伺える記述があった。以上のことから、「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	生徒のワークシート(iPad)に、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしていることが伺える記述があった。また、自分の鑑賞の記録を基に他(友人)の鑑賞内容と比べながら音楽活動(鑑賞の学習活動)を深めようとしていることが伺える記述があった。以上のことから、「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。
126	北海道	多声音楽に親しもう	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	振り返りシートやワークシート、鑑賞文について、音楽の特徴(音色・構成・形式)について理解し、適切な言葉を用いて記述できているものをBと評価した。	振り返りシートやワークシート、鑑賞文について、音色・構成・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととのかわりについて考えるとともに、よさや美しさを味わって聞き、それらを適切な言葉を用いて記述できているものをBと評価した。	第1時はパイプオルガンの仕組みや音色について、第2時は小フーガの構成や形式について視点を設けて学習の振り返りを記述し、聴きとったことや気づいたこと、感じ取ったことについて記述できているものをBと判断した。また、教師のコメントや仲間の発表を聴いて聴き方について修正を図ろうとしたものについて「自ら学習を調整しようとする側面」からおおむね満足できると判断した場合は、CをBとするなどした。
127	京都府	「曲の構成を理解して『ポレロ』のよさや美しさを味わおう」	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	本題材は【鑑賞】領域。「反復」の効果に気づき、「ポレロ」の構成を理解する」という目標の第1時には、知識に関する評価規準を『「ポレロ」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している』と設定した。ワークシートの記述にAとBという2つの旋律が何度も繰り返されて楽曲が構成されていること、自分なりに「気になる」「魅力的だ」と感じた部分をその理由と共に記述できていたら「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	「様々な要素の働きによる反復の魅力を感じ、『ポレロ』の評価と根拠を考えながら聴く」という第2時において、「『ポレロ』の構成(反復)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、よさや美しさを味わって聴いたりしている。」という「思考・判断・表現」に関する評価規準を設定し、グループ討議の中で「反復」の魅力について他のメンバーに伝えて意見交換し、その魅力を味わいながら全体を鑑賞することができていることが発表内容やワークシートから確認できたら、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	題材構成の全3時を通して『「ポレロ」の構成(反復)に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。』という「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準を設定し、各時の気づきなどのワークシートへの記述内容、グループでお互いに意見交換する中で他者の気づきを自分の考えに取り入れて自分の意見や聴くポイントを調整したこと、そして第3時に書いた『「ポレロ」の構成(反復)の特徴と、そこから生み出される魅力について、気づいたことを書く』という批評文に、反復による魅力と、自分がこだわって聴き続けた特徴(音色、リズム、旋律、強弱などの音楽を形づくっている要素)や他者との学びの中で気づいた特徴について触れながら記述することができていたら、「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。

番号	都道府県	実践事例の題材名	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
128	香川県	我が国の伝統音楽や芸能から、多様な音楽のよさを味わおう	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識→ワークシートに文楽や義太夫節の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について、太夫の声の出し方や語り方、三味線と太夫の関わりについて触れながら、おおむね妥当な内容を書いている場合、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、三味線や太夫の声の音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている記述が見られた。また、歌舞伎と文楽を比較し、音楽表現の共通性や固有性について考えている記述が見られ、「義太夫節」のよさや美しさを味わって聴いていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	毎時間の振り返りの記述で、学習した内容について分かったことや気付いたことだけでなく、さらに興味を深めたい事柄や文楽のおもしろさについて自分なりに考えたことが適切に書かれていた。また、授業観察記録では、太夫の語りを模倣する活動に主体的に取り組む、声の出し方や語り方について他者の意見を取り入れながら自分の言葉でワークシートにまとめている。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し、「A」と評価した。
129	香川県	音楽の構成を理解し、オーケストラの響きを味わおう	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識→生徒のワークシートに、曲想と音楽の特徴(特にリズム・旋律)との関わりについて考え、分かったことや気付いたことについて記述されていた。また、音色、強弱、構成との関わりに触れながら、音楽の特徴を捉えていた。以上のことから「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、音楽の構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いていることが伺える記述が見られた。以上のことから「おおむね満足できる」と判断し、「B」と評価した。	生徒の振り返りシートの記述では、自分が感じ取ったことや気付いたことだけでなく、他者の意見を聞いて、新たに発見したことや自分の考えと異なることについても書かれていた。また、友人の意見をふまえて自らの考えを再構築し、深めていく姿が見られた。以上のことから、「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。
130	香川県	ポレロの魅力味わおう	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	知識→生徒のワークシートに『ポレロ』の旋律・リズム・強弱・音色などの音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて音楽における働きと関わらせて理解する記述が見られた。また、作曲家ラヴェルや楽曲「ポレロ」の背景となる歴史と『ポレロ』を聴いて分かったことや気付いたこととの関わりに触れながらおおむね記述できていた。以上のことから、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに『ポレロ』の旋律・リズム・強弱・音色などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「変わるものと変わらないもの」を踏まえて、その曲のよさや美しさの魅力について自分の考えをまとめることがおおむね伺える記述があった。以上のことから、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	『ポレロ』鑑賞時の授業観察記録では、感じたことをワークシートに書きながら主体的に聴く様子が見られた。また記述後、生徒が意見を発表する場面では、自分なりに感じたことを述べるのが、おおむね伺えた。生徒の毎時間の自己評価プリント(振り返りシート)の記述では、今後も音楽を楽しみながら主体的・協働的に聴こうとする取り組みの姿勢がおおむね伺えた。以上のことから、「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。
131	静岡県	音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素や曲想との関わりや、背景などから理解して、よさや美しさを味わって聴こう。	【8】〔第2,3学年〕「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	作曲家や楽曲についてレポートで、曲の生まれた背景を歴史と関連づけて、作曲者が曲に込めた思いについておおむね妥当な内容を書いていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し、「B」と評価した。	生徒のワークシートに、標題ごとのそれぞれの情景をイメージし、感じたことについて音色や旋律、速度や強弱など、音楽を形づくっている要素と結びつけての説明がおおむねできていると伺える記述があった。以上のことから「おおむね満足できる」状況と判断し「B」と評価した。	生徒のワークシートへの記述内容から、曲の魅力や美しさについて興味をもって自分なりの言葉でまとめている。また、振り返りシートでは、改善点や次にどのように取り組みたいかなどが書かれており、それを次の授業で課題解決できるように気をつけて取り組んでいた。以上のことから「十分満足できる」状況と判断し「A」と評価した。